

基本計画新旧対照表

※但し、簡易な文言修正等は除く

変更後	変更前（第7回審議会）																																												
<p data-bbox="160 363 1445 405">1-2 強みを生かした企業誘致と雇用の促進</p> <p data-bbox="160 457 1445 489"><目指す姿></p> <p data-bbox="160 499 1445 625">本市の持つ地理的特性を生かした工業用地の確保や情報通信環境等の整備を推進するとともに、高等専門学校や大学等が市内に立地していることによる人材確保面での優位性を生かした積極的な企業誘致活動を展開し、活力ある産業基盤を形成します。</p> <p data-bbox="160 636 1445 720">また、企業、ハローワーク及び教育機関等の様々な主体との連携を強化し、市民が安心して働き、安定的な暮らしを送ることができるよう、多様な働き方を支える環境づくりに努めます。</p> <p data-bbox="160 772 457 804">（1）施策の現状と課題</p> <p data-bbox="160 814 1445 982">本市は、鹿児島県本土の中央部に位置し、空港や高速道路、主要幹線道路、鉄道網など、国内外への流通ルートが確保され、企業誘致を展開する上で、大きな優位性を持っています。これらの地理的特性や企業立地等に係る優遇制度の充実等により、これまで多くの企業誘致や工場の増設等を実現するとともに、ハローワーク等の関係機関との連携により、市民の雇用の場の確保に努めてきました。</p> <p data-bbox="160 993 1445 1119">その一方で、就職や進学時期の年齢層を中心に、市外への人材流出に歯止めがかからない状況であることから、今後、更に企業誘致を強化し雇用の場を確保するとともに、地元への就職率を向上させ、若者の人材確保を強化していく必要があります。</p> <p data-bbox="160 1129 1445 1297">また、雇用の維持・創出は、地域経済の活性化や教育・子育て支援など、様々な分野と連携した複合的な取組が求められるとともに、行政による取組だけでは解決が難しい課題であることから、企業やハローワーク等の関係機関はもとより、教育機関や地域活動に取り組む様々な主体等との連携を強化し、協力しながら総合的な施策を講じることが重要です。</p> <p data-bbox="160 1350 350 1381">（2）成果指標</p> <table border="1" data-bbox="181 1392 1436 1812"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値 (年度)</th> <th>目標値 (2022年度)</th> <th>目標達成の 方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><データ系> 誘致企業の雇用者数</td> <td>10,427人 (2017年度)</td> <td>11,000人</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 立地協定締結件数（増設を含む）</td> <td>4件 (2016年度)</td> <td>4件</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 高校卒業時の地元就職率</td> <td>30.6% (2016年度)</td> <td>35.0%</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 大学卒業時の地元就職率</td> <td>10.6% (2016年度)</td> <td>23.0%</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> </tbody> </table>		現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性	<データ系> 誘致企業の雇用者数	10,427人 (2017年度)	11,000人	更なる増加 を目指す	<データ系> 立地協定締結件数（増設を含む）	4件 (2016年度)	4件	更なる増加 を目指す	<データ系> 高校卒業時の地元就職率	30.6% (2016年度)	35.0%	更なる増加 を目指す	<データ系> 大学卒業時の地元就職率	10.6% (2016年度)	23.0%	更なる増加 を目指す	<p data-bbox="1484 363 2769 405">1-2 強みを生かした企業誘致と雇用の促進</p> <p data-bbox="1484 457 2769 489"><目指す姿></p> <p data-bbox="1484 499 2769 625">本市の持つ地理的特性を生かした工業用地の確保や情報通信環境等の整備を推進するとともに、高等専門学校や大学等が市内に立地していることによる人材確保面での優位性を生かした積極的な企業誘致活動を展開し、活力ある産業基盤を形成します。</p> <p data-bbox="1484 636 2769 720">また、企業、ハローワーク及び教育機関等の様々な主体との連携を強化し、市民が安心して働き、安定的な暮らしを送ることができるよう、多様な働き方を支える環境づくりに努めます。</p> <p data-bbox="1484 772 1780 804">（1）施策の現状と課題</p> <p data-bbox="1484 814 2769 982">本市は、鹿児島県本土の中央部に位置し、空港や高速道路、主要幹線道路、鉄道網など、国内外への流通ルートが確保され、企業誘致を展開する上で、大きな優位性を持っています。これらの地理的特性や企業立地等に係る優遇制度の充実等により、これまで多くの企業誘致や工場の増設等を実現するとともに、ハローワーク等の関係機関との連携により、市民の雇用の場の確保に努めてきました。</p> <p data-bbox="1484 993 2769 1119">その一方で、就職や進学時期の年齢層を中心に、市外への人材流出に歯止めがかからない状況であることから、今後、更に企業誘致を強化し雇用の場を確保するとともに、地元への就職率を向上させ、若者の人材確保を強化していく必要があります。</p> <p data-bbox="1484 1129 2769 1297">また、雇用の維持・創出は、地域経済の活性化や教育・子育て支援など、様々な分野と連携した複合的な取組が求められるとともに、行政による取組だけでは解決が難しい課題であることから、企業やハローワーク等の関係機関はもとより、教育機関や地域活動に取り組む様々な主体等との連携を強化し、協力しながら総合的な施策を講じることが重要です。</p> <p data-bbox="1484 1350 1673 1381">（2）成果指標</p> <table border="1" data-bbox="1504 1392 2760 1812"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値 (年度)</th> <th>目標値 (2022年度)</th> <th>目標達成の 方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><意識系> <u>「霧島市で働きたい」と思う高校生の割合</u></td> <td><u>22.9%</u> (2016年度)</td> <td><u>42.0%</u></td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 誘致企業の雇用者数</td> <td>10,427人 (2017年度)</td> <td>11,000人</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 立地協定締結件数（増設を含む）</td> <td>4件 (2016年度)</td> <td>4件</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 高校卒業時の地元就職率</td> <td>30.6% (2016年度)</td> <td>35.0%</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 大学卒業時の地元就職率</td> <td>10.6% (2016年度)</td> <td>23.0%</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> </tbody> </table>		現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性	<意識系> <u>「霧島市で働きたい」と思う高校生の割合</u>	<u>22.9%</u> (2016年度)	<u>42.0%</u>	更なる増加 を目指す	<データ系> 誘致企業の雇用者数	10,427人 (2017年度)	11,000人	更なる増加 を目指す	<データ系> 立地協定締結件数（増設を含む）	4件 (2016年度)	4件	更なる増加 を目指す	<データ系> 高校卒業時の地元就職率	30.6% (2016年度)	35.0%	更なる増加 を目指す	<データ系> 大学卒業時の地元就職率	10.6% (2016年度)	23.0%	更なる増加 を目指す
	現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性																																										
<データ系> 誘致企業の雇用者数	10,427人 (2017年度)	11,000人	更なる増加 を目指す																																										
<データ系> 立地協定締結件数（増設を含む）	4件 (2016年度)	4件	更なる増加 を目指す																																										
<データ系> 高校卒業時の地元就職率	30.6% (2016年度)	35.0%	更なる増加 を目指す																																										
<データ系> 大学卒業時の地元就職率	10.6% (2016年度)	23.0%	更なる増加 を目指す																																										
	現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性																																										
<意識系> <u>「霧島市で働きたい」と思う高校生の割合</u>	<u>22.9%</u> (2016年度)	<u>42.0%</u>	更なる増加 を目指す																																										
<データ系> 誘致企業の雇用者数	10,427人 (2017年度)	11,000人	更なる増加 を目指す																																										
<データ系> 立地協定締結件数（増設を含む）	4件 (2016年度)	4件	更なる増加 を目指す																																										
<データ系> 高校卒業時の地元就職率	30.6% (2016年度)	35.0%	更なる増加 を目指す																																										
<データ系> 大学卒業時の地元就職率	10.6% (2016年度)	23.0%	更なる増加 を目指す																																										

変更後	変更前（第7回審議会）																																																
<p style="text-align: center;">1-3 活力ある農・林・水産業の振興</p>	<p style="text-align: center;">1-3 活力ある農・林・水産業の振興</p>																																																
<p><目指す姿> 農林水産業の生産性の向上や担い手・新規就労者の確保・育成に努めるとともに、農林水産業を支える基盤整備に取り組みます。 また、地域特性を生かした農山漁村の振興を図るとともに、良質で付加価値の高い農林水産物の生産等を通じて、農林水産業者の所得が向上し、後継者の確保につながる好循環を目指します。</p>	<p><目指す姿> 農林水産業の生産性の向上や担い手・新規就労者の確保・育成に努めるとともに、農林水産業を支える基盤整備に取り組みます。 また、地域特性を生かした農山漁村の振興を図るとともに、良質で付加価値の高い農林水産物の生産等を通じて、農林水産業者の所得が向上し、後継者の確保につながる好循環を目指します。</p>																																																
<p>（1）施策の現状と課題 本市の農林水産業は、従事者の高齢化や後継者・担い手不足のほか、荒廃した農地や山林等の増加、さらには、有害鳥獣被害などの問題も深刻化しています。 今後、活力ある農林水産業の振興を図るためには、農業協同組合、土地改良区、森林組合、漁業協同組合など関係団体等と連携して、担い手や新規就労者の確保・育成、機械化等による経営基盤の強化やほ場整備、施設整備など、農林水産業を支える生産基盤の強化を図る必要があります。 また、計画的な施業による山林の保全、地域の協働による農山漁村の環境維持のほか、地域特性を生かしたグリーン・ツーリズムの推進など、農山漁村地域の活性化も重要な課題です。 さらに、農商工や産学官が連携し、消費者ニーズに対応したブランド戦略を推進し、消費者の認知度や信頼度の向上を図るとともに、6次産業化の推進により、農林水産物の付加価値を高めるなど、農林水産業者の所得向上と経営の安定化を図る必要があります。 <u>加えて、2022年に本市で開催される第12回全国和牛能力共進会を見据え、成績向上に向けた出品牛対策に取り組む必要があります。</u></p>	<p>（1）施策の現状と課題 本市の農林水産業は、従事者の高齢化や後継者・担い手不足のほか、荒廃した農地や山林等の増加、さらには、有害鳥獣被害などの問題も深刻化しています。 今後、活力ある農林水産業の振興を図るためには、農業協同組合、土地改良区、森林組合、漁業協同組合など関係団体等と連携して、担い手や新規就労者の確保・育成、機械化等による経営基盤の強化やほ場整備、施設整備など、農林水産業を支える生産基盤の強化を図る必要があります。 また、計画的な施業による山林の保全、地域の協働による農山漁村の環境維持のほか、地域特性を生かしたグリーン・ツーリズムの推進など、農山漁村地域の活性化も重要な課題です。 さらに、農商工や産学官が連携し、消費者ニーズに対応したブランド戦略を推進し、消費者の認知度や信頼度の向上を図るとともに、6次産業化の推進により、農林水産物の付加価値を高めるなど、農林水産業者の所得向上と経営の安定化を図る必要があります。</p>																																																
<p>（2）成果指標</p> <table border="1" data-bbox="181 1304 1439 1717"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値 (年度)</th> <th>目標値 (2022年度)</th> <th>目標達成の 方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><意識系> 農林水産業に活気があると思う市民の割合</td> <td>23.8% (2017年度)</td> <td>30.6%</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 農業粗生産額</td> <td>22,036百万円 (2016年度)</td> <td>21,700百万円</td> <td>減少の抑制 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 林業生産額</td> <td>876百万円 (2016年度)</td> <td>880百万円</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 水産業生産額</td> <td>144百万円 (2016年度)</td> <td>150百万円</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 新規就農者数</td> <td>9人 (2016年度)</td> <td>10人</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> </tbody> </table>		現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性	<意識系> 農林水産業に活気があると思う市民の割合	23.8% (2017年度)	30.6%	更なる増加 を目指す	<データ系> 農業粗生産額	22,036百万円 (2016年度)	21,700百万円	減少の抑制 を目指す	<データ系> 林業生産額	876百万円 (2016年度)	880百万円	更なる増加 を目指す	<データ系> 水産業生産額	144百万円 (2016年度)	150百万円	更なる増加 を目指す	<データ系> 新規就農者数	9人 (2016年度)	10人	更なる増加 を目指す	<p>（2）成果指標</p> <table border="1" data-bbox="1504 1304 2751 1717"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値 (年度)</th> <th>目標値 (2022年度)</th> <th>目標達成の 方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><意識系> 農林水産業に活気があると思う市民の割合</td> <td>23.8% (2017年度)</td> <td>30.6%</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 農業粗生産額</td> <td>22,036百万円 (2016年度)</td> <td>21,700百万円</td> <td>減少の抑制 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 林業生産額</td> <td>876百万円 (2016年度)</td> <td>880百万円</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 水産業生産額</td> <td>144百万円 (2016年度)</td> <td>150百万円</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 新規就農者数</td> <td>9人 (2016年度)</td> <td>10人</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> </tbody> </table>		現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性	<意識系> 農林水産業に活気があると思う市民の割合	23.8% (2017年度)	30.6%	更なる増加 を目指す	<データ系> 農業粗生産額	22,036百万円 (2016年度)	21,700百万円	減少の抑制 を目指す	<データ系> 林業生産額	876百万円 (2016年度)	880百万円	更なる増加 を目指す	<データ系> 水産業生産額	144百万円 (2016年度)	150百万円	更なる増加 を目指す	<データ系> 新規就農者数	9人 (2016年度)	10人	更なる増加 を目指す
	現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性																																														
<意識系> 農林水産業に活気があると思う市民の割合	23.8% (2017年度)	30.6%	更なる増加 を目指す																																														
<データ系> 農業粗生産額	22,036百万円 (2016年度)	21,700百万円	減少の抑制 を目指す																																														
<データ系> 林業生産額	876百万円 (2016年度)	880百万円	更なる増加 を目指す																																														
<データ系> 水産業生産額	144百万円 (2016年度)	150百万円	更なる増加 を目指す																																														
<データ系> 新規就農者数	9人 (2016年度)	10人	更なる増加 を目指す																																														
	現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性																																														
<意識系> 農林水産業に活気があると思う市民の割合	23.8% (2017年度)	30.6%	更なる増加 を目指す																																														
<データ系> 農業粗生産額	22,036百万円 (2016年度)	21,700百万円	減少の抑制 を目指す																																														
<データ系> 林業生産額	876百万円 (2016年度)	880百万円	更なる増加 を目指す																																														
<データ系> 水産業生産額	144百万円 (2016年度)	150百万円	更なる増加 を目指す																																														
<データ系> 新規就農者数	9人 (2016年度)	10人	更なる増加 を目指す																																														

変更後	変更前（第7回審議会）																																																
<p style="text-align: center;">2-3 快適生活の基盤づくりの推進</p>	<p style="text-align: center;">2-3 快適生活の基盤づくりの推進</p>																																																
<p><目指す姿> 市民が快適さと暮らしやすさを実感し、安心して住み続けられるまちの実現を目指します。 そのため、市営住宅の長寿命化、土地区画整理事業による住環境の整備や超高速ブロードバンドの整備促進、上下水道施設等の計画的な整備・改修、耐震化等に努めます。 また、幹線道路のバイパス整備、地域の拠点施設を結ぶアクセス道路の整備など市内の道路網の強化や円滑な交通環境の確保に努めます。</p>	<p><目指す姿> 市民が快適さと暮らしやすさを実感し、安心して住み続けられるまちの実現を目指します。 そのため、市営住宅の長寿命化、土地区画整理事業による住環境の整備や超高速ブロードバンドの整備促進、上下水道施設等の計画的な整備・改修、耐震化等に努めます。 また、幹線道路のバイパス整備、地域の拠点施設を結ぶアクセス道路の整備など市内の道路網の強化や円滑な交通環境の確保に努めます。</p>																																																
<p>（1）施策の現状と課題</p> <p>本市は、これまで、市営住宅の計画的な建替えなどの住環境の整備、幹線道路・生活道路の整備や維持管理、水の安定供給と効率的な汚水処理など、市民生活に密着した基盤整備を進めてきましたが、これらの生活基盤は、今後、限られた行政資源の中で、少子高齢化の進行や人口減少局面への移行を見据えた、より効率的で効果的な整備が求められています。</p> <p>また、多くの生活基盤施設において、老朽化に伴う大規模な改修や更新の時期を迎えていることから、予防・保全的な維持管理により長寿命化を図るとともに、有効活用を推進し、更新費用の縮減を図る必要があります。</p> <p>「第4次産業革命」（IoT、ビッグデータ、ロボット、シェアリングエコノミー等）は、あらゆる社会生活を劇的に変革する可能性を有しています。</p> <p>一方、条件不利地域等においては、情報通信基盤の整備が進みにくく、超高速ブロードバンドが未整備の地域が依然として残っており、地域間で情報格差が生じているため、その解消に向けた調査研究を進めていく必要があります。</p>	<p>（1）施策の現状と課題</p> <p>本市は、これまで、市営住宅の計画的な建替えなどの住環境の整備、幹線道路・生活道路の整備や維持管理、水の安定供給と効率的な汚水処理など、市民生活に密着した基盤整備を進めてきましたが、これらの生活基盤は、今後、限られた行政資源の中で、少子高齢化の進行や人口減少局面への移行を見据えた、より効率的で効果的な整備が求められています。</p> <p>また、多くの生活基盤施設において、老朽化に伴う大規模な改修や更新の時期を迎えていることから、予防・保全的な維持管理により長寿命化を図るとともに、有効活用を推進し、更新費用の縮減を図る必要があります。</p> <p>「第4次産業革命」（IoT、ビッグデータ、ロボット、シェアリングエコノミー等）は、あらゆる社会生活を劇的に変革する可能性を有しています。</p> <p>一方、条件不利地域等においては、情報通信基盤の整備が進みにくく、超高速ブロードバンドが未整備の地域が依然として残っており、地域間で情報格差が生じているため、その解消に向けた調査研究を進めていく必要があります。</p>																																																
<p>（2）成果指標</p> <table border="1" data-bbox="181 1346 1436 1829"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値 (年度)</th> <th>目標値 (2022年度)</th> <th>目標達成の 方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><意識系> ゆとりある住みやすいまちであると感じている市民の割合</td> <td>57.4% (2017年度)</td> <td>60.0%</td> <td>更なる増加を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 市道の改良率（規格改良済／実延長）</td> <td>47.4% (2017年度)</td> <td>48.0%</td> <td>更なる増加を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 水洗化率 (水洗化〔接続〕人口／供用開始区域人口)</td> <td>82.1% (2016年度)</td> <td>88.6%</td> <td>更なる増加を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> <u>超高速ブロードバンド整備率</u></td> <td><u>83.3%</u> <u>(2015年度)</u></td> <td>92.0%</td> <td>更なる増加を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 耐震化率（水道管）</td> <td>23.6% (2016年度)</td> <td>29.6%</td> <td>更なる増加を目指す</td> </tr> </tbody> </table>		現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性	<意識系> ゆとりある住みやすいまちであると感じている市民の割合	57.4% (2017年度)	60.0%	更なる増加を目指す	<データ系> 市道の改良率（規格改良済／実延長）	47.4% (2017年度)	48.0%	更なる増加を目指す	<データ系> 水洗化率 (水洗化〔接続〕人口／供用開始区域人口)	82.1% (2016年度)	88.6%	更なる増加を目指す	<データ系> <u>超高速ブロードバンド整備率</u>	<u>83.3%</u> <u>(2015年度)</u>	92.0%	更なる増加を目指す	<データ系> 耐震化率（水道管）	23.6% (2016年度)	29.6%	更なる増加を目指す	<p>（2）成果指標</p> <table border="1" data-bbox="1510 1346 2763 1829"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値 (年度)</th> <th>目標値 (2022年度)</th> <th>目標達成の 方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><意識系> ゆとりある住みやすいまちであると感じている市民の割合</td> <td>57.4% (2017年度)</td> <td>60.0%</td> <td>更なる増加を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 市道の改良率（規格改良済／実延長）</td> <td>47.4% (2017年度)</td> <td>48.0%</td> <td>更なる増加を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 水洗化率 (水洗化〔接続〕人口／供用開始区域人口)</td> <td>82.1% (2016年度)</td> <td>88.6%</td> <td>更なる増加を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> <u>超高速ブロードバンド世帯カバー率</u></td> <td><u>80.4%</u> <u>(2016年度)</u></td> <td>92.0%</td> <td>更なる増加を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 耐震化率（水道管）</td> <td>23.6% (2016年度)</td> <td>29.6%</td> <td>更なる増加を目指す</td> </tr> </tbody> </table>		現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性	<意識系> ゆとりある住みやすいまちであると感じている市民の割合	57.4% (2017年度)	60.0%	更なる増加を目指す	<データ系> 市道の改良率（規格改良済／実延長）	47.4% (2017年度)	48.0%	更なる増加を目指す	<データ系> 水洗化率 (水洗化〔接続〕人口／供用開始区域人口)	82.1% (2016年度)	88.6%	更なる増加を目指す	<データ系> <u>超高速ブロードバンド世帯カバー率</u>	<u>80.4%</u> <u>(2016年度)</u>	92.0%	更なる増加を目指す	<データ系> 耐震化率（水道管）	23.6% (2016年度)	29.6%	更なる増加を目指す
	現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性																																														
<意識系> ゆとりある住みやすいまちであると感じている市民の割合	57.4% (2017年度)	60.0%	更なる増加を目指す																																														
<データ系> 市道の改良率（規格改良済／実延長）	47.4% (2017年度)	48.0%	更なる増加を目指す																																														
<データ系> 水洗化率 (水洗化〔接続〕人口／供用開始区域人口)	82.1% (2016年度)	88.6%	更なる増加を目指す																																														
<データ系> <u>超高速ブロードバンド整備率</u>	<u>83.3%</u> <u>(2015年度)</u>	92.0%	更なる増加を目指す																																														
<データ系> 耐震化率（水道管）	23.6% (2016年度)	29.6%	更なる増加を目指す																																														
	現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性																																														
<意識系> ゆとりある住みやすいまちであると感じている市民の割合	57.4% (2017年度)	60.0%	更なる増加を目指す																																														
<データ系> 市道の改良率（規格改良済／実延長）	47.4% (2017年度)	48.0%	更なる増加を目指す																																														
<データ系> 水洗化率 (水洗化〔接続〕人口／供用開始区域人口)	82.1% (2016年度)	88.6%	更なる増加を目指す																																														
<データ系> <u>超高速ブロードバンド世帯カバー率</u>	<u>80.4%</u> <u>(2016年度)</u>	92.0%	更なる増加を目指す																																														
<データ系> 耐震化率（水道管）	23.6% (2016年度)	29.6%	更なる増加を目指す																																														

変更後	変更前（第7回審議会）																																								
<p data-bbox="160 268 1445 310">2-4 地域特性に応じた魅力ある空間の形成</p> <div data-bbox="160 359 1445 627"> <p data-bbox="160 359 326 390"><目指す姿></p> <p data-bbox="160 407 1445 531">魅力ある空間の形成を図るため、社会経済環境の変化に対応した、快適で利便性の高い、きめ細やかな土地利用や利用者の視点に立った公園づくりを推進するとともに、自然や歴史・文化などの地域の特性を生かした個性豊かで魅力ある景観の形成を図ります。</p> <p data-bbox="160 541 1445 627">また、少子高齢化や過疎化の進展などにより増加している空き家の有効活用を促進し、美しいまちなみの形成に努めます。</p> </div> <p data-bbox="160 678 457 709">（1）施策の現状と課題</p> <p data-bbox="160 722 1445 846">本市は、霧島市都市計画マスタープラン等に基づき、地域の特性を踏まえた計画的な土地利用や利用者の視点に立った公園・広場等の整備に取り組んできましたが、人口減少・少子高齢化が進行する中、今後さらに、日常生活が一定のエリアで完結し、地域の活力が維持できる持続可能なまちづくりが求められます。</p> <p data-bbox="160 856 1445 980">また、霧島市景観条例や霧島市景観計画に基づき、本市の特性を生かした<u>景観の保全</u>や新たな景観形成に向けた取組を推進していますが、近年増加する太陽光発電設備の設置など、多様化する社会情勢の変化に<u>適切に対応し、市民、事業者等との協働による良好な景観づくりを推進していく必要があります。</u></p> <p data-bbox="160 991 1445 1161">さらに、近年の少子高齢化や過疎化の進行により、適切に管理されていない空き家が増加しており、建物の倒壊などの保安上の危険性に加え、防災・防犯、公衆衛生、景観への影響など、問題がより深刻化・多極化し、市民生活への悪影響がますます顕在化することが予想されます。そのため、所有者等に対し、具体的な管理方法などに関する情報提供を徹底するとともに、空家の有効活用を支援していく必要があります。</p> <p data-bbox="160 1211 347 1243">（2）成果指標</p> <table border="1" data-bbox="181 1255 1445 1671"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値 (年度)</th> <th>目標値 (2022年度)</th> <th>目標達成の 方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><意識系> 地域に合った景観整備がなされ、街並みが良好だと感じる市民の割合</td> <td>40.6% (2017年度)</td> <td>50.0%</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> <tr> <td><意識系> 地域に合わせた土地利用がなされ秩序ある開発が行われていると考える市民の割合</td> <td>28.9% (2017年度)</td> <td>45.0%</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 空き家の利活用件数</td> <td>2件 (2016年度)</td> <td>5件</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 都市公園内の更新及び新設した施設数</td> <td>2件 (2016年度)</td> <td>12件</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="160 1715 433 1747">（4）施策の基本事業</p> <p data-bbox="160 1759 652 1791">① 地域にあった土地利用の規制・誘導</p> <p data-bbox="219 1803 1445 1835">社会経済環境の変化に適応し、地域の特性を生かしたまちの活力を生み出す土地利用を推進します。</p> <p data-bbox="219 1848 1445 1879">また、建築物に関する関係法令への適合について、申請に基づく審査・検査や定期的なパトロールを適切</p>		現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性	<意識系> 地域に合った景観整備がなされ、街並みが良好だと感じる市民の割合	40.6% (2017年度)	50.0%	更なる増加 を目指す	<意識系> 地域に合わせた土地利用がなされ秩序ある開発が行われていると考える市民の割合	28.9% (2017年度)	45.0%	更なる増加 を目指す	<データ系> 空き家の利活用件数	2件 (2016年度)	5件	更なる増加 を目指す	<データ系> 都市公園内の更新及び新設した施設数	2件 (2016年度)	12件	更なる増加 を目指す	<p data-bbox="1489 268 2775 310">2-4 地域特性に応じた魅力ある空間の形成</p> <div data-bbox="1489 359 2775 627"> <p data-bbox="1489 359 1656 390"><目指す姿></p> <p data-bbox="1489 407 2775 531">魅力ある空間の形成を図るため、社会経済環境の変化に対応した、快適で利便性の高い、きめ細やかな土地利用や利用者の視点に立った公園づくりを推進するとともに、自然や歴史・文化などの地域の特性を生かした個性豊かで魅力ある景観の形成を図ります。</p> <p data-bbox="1489 541 2775 627">また、少子高齢化や過疎化の進展などにより増加している空き家の有効活用を促進し、美しいまちなみの形成に努めます。</p> </div> <p data-bbox="1489 678 1786 709">（1）施策の現状と課題</p> <p data-bbox="1489 722 2775 846">本市は、霧島市都市計画マスタープラン等に基づき、地域の特性を踏まえた計画的な土地利用や利用者の視点に立った公園・広場等の整備に取り組んできましたが、人口減少・少子高齢化が進行する中、今後さらに、日常生活が一定のエリアで完結し、地域の活力が維持できる持続可能なまちづくりが求められます。</p> <p data-bbox="1489 856 2775 980">また、霧島市景観条例や霧島市景観計画に基づき、本市の特性を生かした<u>良好な景観の保全</u>や新たな景観形成に向けた取組を推進していますが、近年増加する太陽光発電設備の設置など、多様化する社会情勢の変化に<u>対応した取組や、違反建築物の早期発見を強化していく必要があります。</u></p> <p data-bbox="1489 991 2775 1161">さらに、近年の少子高齢化や過疎化の進行により、適切に管理されていない空き家が増加しており、建物の倒壊などの保安上の危険性に加え、防災・防犯、公衆衛生、景観への影響など、問題がより深刻化・多極化し、市民生活への悪影響がますます顕在化することが予想されます。そのため、所有者等に対し、具体的な管理方法などに関する情報提供を徹底するとともに、空家の有効活用を支援していく必要があります。</p> <p data-bbox="1489 1211 1676 1243">（2）成果指標</p> <table border="1" data-bbox="1510 1255 2775 1671"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値 (年度)</th> <th>目標値 (2022年度)</th> <th>目標達成の 方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><意識系> 地域に合った景観整備がなされ、街並みが良好だと感じる市民の割合</td> <td>40.6% (2017年度)</td> <td>50.0%</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> <tr> <td><意識系> 地域に合わせた土地利用がなされ秩序ある開発が行われていると考える市民の割合</td> <td>28.9% (2017年度)</td> <td>45.0%</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 空き家の利活用件数</td> <td>2件 (2016年度)</td> <td>5件</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 都市公園内の更新及び新設した施設数</td> <td>2件 (2016年度)</td> <td>12件</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1489 1715 1762 1747">（4）施策の基本事業</p> <p data-bbox="1489 1759 1982 1791">① 地域にあった土地利用の規制・誘導</p> <p data-bbox="1549 1803 2775 1835">社会経済環境の変化に適応し、地域の特性を生かしたまちの活力を生み出す土地利用を推進します。</p> <p data-bbox="1549 1848 2775 1879">また、建築物に関する関係法令への適合について、申請に基づく審査・検査や定期的なパトロールを適切</p>		現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性	<意識系> 地域に合った景観整備がなされ、街並みが良好だと感じる市民の割合	40.6% (2017年度)	50.0%	更なる増加 を目指す	<意識系> 地域に合わせた土地利用がなされ秩序ある開発が行われていると考える市民の割合	28.9% (2017年度)	45.0%	更なる増加 を目指す	<データ系> 空き家の利活用件数	2件 (2016年度)	5件	更なる増加 を目指す	<データ系> 都市公園内の更新及び新設した施設数	2件 (2016年度)	12件	更なる増加 を目指す
	現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性																																						
<意識系> 地域に合った景観整備がなされ、街並みが良好だと感じる市民の割合	40.6% (2017年度)	50.0%	更なる増加 を目指す																																						
<意識系> 地域に合わせた土地利用がなされ秩序ある開発が行われていると考える市民の割合	28.9% (2017年度)	45.0%	更なる増加 を目指す																																						
<データ系> 空き家の利活用件数	2件 (2016年度)	5件	更なる増加 を目指す																																						
<データ系> 都市公園内の更新及び新設した施設数	2件 (2016年度)	12件	更なる増加 を目指す																																						
	現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性																																						
<意識系> 地域に合った景観整備がなされ、街並みが良好だと感じる市民の割合	40.6% (2017年度)	50.0%	更なる増加 を目指す																																						
<意識系> 地域に合わせた土地利用がなされ秩序ある開発が行われていると考える市民の割合	28.9% (2017年度)	45.0%	更なる増加 を目指す																																						
<データ系> 空き家の利活用件数	2件 (2016年度)	5件	更なる増加 を目指す																																						
<データ系> 都市公園内の更新及び新設した施設数	2件 (2016年度)	12件	更なる増加 を目指す																																						

変更後	変更前（第7回審議会）
<p>に実施し、安全・安心で快適なまちづくりを目指します。</p> <p>さらに、都市計画区域及び用途地域については、必要に応じて見直しを行い、適正な土地利用の規制・誘導を進め、秩序あるまちなみの形成を図ります。</p> <p>② 公園・広場等の整備と適切な維持管理</p> <p>地域性等を考慮し、利用者の視点に立った多様なニーズに対応した公園づくりを進め、公園緑地の充実を図るとともに、公園施設の定期的な点検を実施し、利用者の安全確保に努めます。</p> <p>また、地域住民と連携した公園の維持管理を推進します。</p> <p>③ 良好な景観の形成</p> <p>景観形成の必要性に関する普及啓発を行うとともに、市民及び事業者等と連携し、地域における景観づくり活動を推進します。</p> <p>また、景観法、屋外広告物法等による規制、誘導等の仕組みを活用した良好な景観を実現するための取組を推進します。</p> <p>④ 空き家対策の推進</p> <p>危険廃屋の解体撤去に関する補助制度の周知を強化し、危険廃屋の撤去を促進し、周辺住民の安全を確保します。</p> <p>また、空き家バンク制度の充実を図り、所有者への活用促進と、必要とする方々への情報提供を行い、空き家の有効活用を推進します。</p> <p>さらに、管理不全の空き家の所有者に対する指導等を実施することで、適正な管理を促します。</p>	<p>に実施し、安全・安心で快適なまちづくりを目指します。</p> <p>さらに、都市計画区域及び用途地域については、必要に応じて見直しを行い、適正な土地利用の規制・誘導を進め、秩序あるまちなみの形成を図ります。</p> <p>② 公園・広場等の整備と適切な維持管理</p> <p>地域性等を考慮し、利用者の視点に立った多様なニーズに対応した公園づくりを進め、公園緑地の充実を図るとともに、公園施設の定期的な点検を実施し、利用者の安全確保に努めます。</p> <p>また、地域住民と連携した公園の維持管理を推進します。</p> <p>③ 良好な景観の形成</p> <p>景観形成の必要性に関する普及啓発を行うとともに、市民及び事業者と連携し、地域における景観づくり活動を推進します。</p> <p>また、景観法、屋外広告物法等による規制、誘導等の仕組みを活用した良好な景観を実現するための取組を推進します。</p> <p>④ 空き家対策の推進</p> <p>危険廃屋の解体撤去に関する補助制度の周知を強化し、危険廃屋の撤去を促進し、周辺住民の安全を確保します。</p> <p>また、空き家バンク制度の充実を図り、所有者への活用促進と、必要とする方々への情報提供を行い、空き家の有効活用を推進します。</p> <p>さらに、管理不全の空き家の所有者に対する指導等を実施することで、適正な管理を促します。</p>
<p>(5) みんなができること</p> <div data-bbox="172 1255 1448 1570" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><市民></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園・広場等の清掃、草払いなどの環境保全活動へ協力しましょう。 ・景観に関心を持つとともに、身近な住環境の向上のためにできることに取り組みましょう。 ・<u>所有者又は管理者は、空き家の適正管理に努めましょう。</u> <p><事業者等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連法規（建築基準法等）を遵守しましょう。 ・景観や近隣との調和に配慮したまちなみの形成に努めましょう。 </div>	<p>(5) みんなができること</p> <div data-bbox="1507 1255 2783 1570" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><市民></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園・広場等の清掃、草払いなどの環境保全活動へ協力しましょう。 ・景観に関心を持つとともに、身近な住環境の向上のためにできることに取り組みましょう。 ・<u>空き家の状況を把握し、適正管理に努めましょう。</u> <p><事業者等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連法規（建築基準法等）を遵守しましょう。 ・景観や近隣との調和に配慮したまちなみの形成に努めましょう。 </div>

3-1 健康づくりの推進と医療体制の充実

<目指す姿>
 始良地区医師会等の関係機関と連携し、一次救急医療及び二次救急医療体制の更なる充実を図ります。
 また、市立医師会医療センターの施設整備や機能の充実に努めるとともに、市民の健康づくりや子育て支援の新たな拠点となる多機能・複合的な保健センターの整備を目指します。
 さらに、市民の主体的な健康づくりを推進するとともに、疾病の早期発見や特定保健指導等による重症化予防、こころの健康づくりに努めます。

（1）施策の現状と課題

始良地区医師会等との連携により、一次救急医療については、休日在宅当番医制や夜間救急診療の実施、二次救急医療については、病院群輪番制や循環器・脳外科救急輪番制の整備・支援を行うなど、夜間・休日における診療の充実を図ってきましたが、高齢化等に伴う医療需要の増加に対応するため、更なる体制強化を図る必要があります。

また、市立医師会医療センターは、施設の老朽化や様々な医療ニーズなどへの対応を踏まえ、抜本的な整備を行う必要があります。保健センターについても、施設の老朽化や狭隘化等に伴い、市民の利便性が低下していることから、新たな拠点施設の整備を検討する必要があります。

健康づくりについては、市民が、自分にあった健康づくりや食生活などの正しい生活習慣を習得するとともに、日ごろから健康管理や疾病予防等について相談できる、かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局を決めることが重要です。また、生活習慣病やこころの病気が増加していることから、生活習慣病の発症・重症化の予防のための健康支援、こころの病気へのサポートが必要とされており、特に、重大な合併症を引き起こすおそれのある糖尿病への対策が重要です。

（2）成果指標

	現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性
<意識系> 健康づくりの支援や医療体制が充実していると感じる市民の割合	52.1% (2017年度)	54.6%	更なる増加を目指す
<意識系> 心身共に健康であると感じている市民の割合	65.6% (2017年度)	73.4%	更なる増加を目指す
<データ系> <u>人口透析の新規導入者数（人口10万人当たり）</u>	<u>15.1</u> (2016年度)	<u>14.3</u>	<u>更なる減少を目指す</u>
<データ系> 予防接種率	94.3% (2016年度)	95.5%	更なる増加を目指す
<データ系> 自殺死亡率（人口10万人あたり）	15.8 (2016年度)	14.1	更なる減少を目指す

3-1 健康づくりの推進と医療体制の充実

<目指す姿>
 始良地区医師会等の関係機関と連携し、一次救急医療及び二次救急医療体制の更なる充実を図ります。
 また、市立医師会医療センターの施設整備や機能の充実に努めるとともに、市民の健康づくりや子育て支援の新たな拠点となる多機能・複合的な保健センターの整備を目指します。
 さらに、市民の主体的な健康づくりを推進するとともに、疾病の早期発見や特定保健指導等による重症化予防、こころの健康づくりに努めます。

（1）施策の現状と課題

始良地区医師会等との連携により、一次救急医療については、休日在宅当番医制や夜間救急診療の実施、二次救急医療については、病院群輪番制や循環器・脳外科救急輪番制の整備・支援を行うなど、夜間・休日における診療の充実を図ってきましたが、高齢化等に伴う医療需要の増加に対応するため、更なる体制強化を図る必要があります。

また、市立医師会医療センターは、施設の老朽化や様々な医療ニーズなどへの対応を踏まえ、抜本的な整備を行う必要があります。保健センターについても、施設の老朽化や狭隘化等に伴い、市民の利便性が低下していることから、新たな拠点施設の整備を検討する必要があります。

健康づくりについては、市民が、自分にあった健康づくりや食生活などの正しい生活習慣を習得するとともに、日ごろから健康管理や疾病予防等について相談できる、かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局を決めることが重要です。また、生活習慣病やこころの病気が増加していることから、がん検診の受診率向上や生活習慣病の発症・重症化の予防のための健康支援、こころの病気へのサポートが必要とされており、特に、重大な合併症を引き起こすおそれのある糖尿病への対策が重要です。

（2）成果指標

	現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性
<意識系> 健康づくりの支援や医療体制が充実していると感じる市民の割合	52.1% (2017年度)	54.6%	更なる増加を目指す
<意識系> 心身共に健康であると感じている市民の割合	65.6% (2017年度)	73.4%	更なる増加を目指す
<データ系> <u>がん検診の受診率</u>	<u>9.0%</u> (2016年度)	<u>10.2%</u>	<u>更なる増加を目指す</u>
<データ系> 予防接種率	94.3% (2016年度)	95.5%	更なる増加を目指す
<データ系> 自殺死亡率（人口10万人あたり）	15.8 (2016年度)	14.1	更なる減少を目指す

変更後	変更前（第7回審議会）																																								
<p>3-2 安心して子どもを産み育てられる環境の充実</p>	<p>3-2 安心して子どもを産み育てられる環境の充実</p>																																								
<p><目指す姿> 関係機関との連携を強化し、妊娠期から乳幼児期まで、切れ目のない支援体制を構築するよう努めます。 また、若い世代に「霧島市に住みたい、霧島市で子育てをしたい」と感じてもらえるように子育てに幸せや楽しさを実感できる環境整備に努めます。</p>	<p><目指す姿> 関係機関との連携を強化し、妊娠期から乳幼児期まで、切れ目のない支援体制を構築するよう努めます。 また、若い世代に「霧島市に住みたい、霧島市で子育てをしたい」と感じてもらえるように子育てに幸せや楽しさを実感できる環境整備に努めます。</p>																																								
<p>（1）施策の現状と課題 <u>出産年齢の高齢化や子育て世代の転入者の増加等に伴い、妊娠・出産への不安や負担を抱えていたり、身近に頼れる人がいない中で子育てをしている市民が増加しています。</u> <u>そのため、関係機関と連携して、産後ケア体制の充実を図り、育児に支障を及ぼすおそれのある支援を必要とする家庭に対して、切れ目のない支援ができるよう、子育て世代包括支援センターの機能を強化するとともに、子育て期における仲間づくりや地域での見守り等、地域全体で子育てを支援していく必要があります。</u> また、年次的に保育所等の整備を行い、利用定数の拡充を図っていますが、共働き家庭の増加等に伴い、今後、更なる保育ニーズの増大・多様化が予想されます。そのため、今後も引き続き、民間保育所等と連携し、施設整備を行うとともに、ファミリー・サポート・センターの機能強化を図るなど、多様な保育サービスを展開していく必要があります。 さらに、子育てに要する経済的負担が大きいことから、医療費の助成制度などの充実にも努めるとともに、特に、ひとり親家庭については、経済的支援のほか、就業支援に努める必要があります。</p>	<p>（1）施策の現状と課題 <u>出産年齢の高齢化や子育て世代の転入者の増加などにより、身近に頼れる人がいない中で子育てをしている市民が増加しています。特に、妊娠・出産への不安や負担が増大していることから、関係機関と連携して、産後ケア体制の充実を図るとともに、育児に支障を及ぼすおそれのある支援を必要とする家庭に対して、切れ目のない支援ができるよう、子育て世代包括支援センターの機能を強化していく必要があります。</u> また、年次的に保育所等の整備を行い、利用定数の拡充を図っていますが、共働き家庭の増加等に伴い、今後、更なる保育ニーズの増大・多様化が予想されます。そのため、今後も引き続き、民間保育所等と連携し、施設整備を行うとともに、ファミリー・サポート・センターの機能強化を図るなど、多様な保育サービスを展開していく必要があります。 さらに、子育てに要する経済的負担が大きいことから、医療費の助成制度などの充実にも努めるとともに、特に、ひとり親家庭については、経済的支援のほか、就業支援に努める必要があります。</p>																																								
<p>（2）成果指標</p> <table border="1" data-bbox="181 1213 1448 1560"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値 (年度)</th> <th>目標値 (2022年度)</th> <th>目標達成の 方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><意識系> 妊娠・出産について満足している市民の割合</td> <td>80.1% (2016年度)</td> <td>85.0%</td> <td>更なる増加を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 18歳以下の児童数（3月31日現在/年）</td> <td>24,083人 (2016年度)</td> <td>24,500人</td> <td>更なる増加を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 乳幼児健診受診率</td> <td>96.1% (2016年度)</td> <td>96.7%</td> <td>更なる増加を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 合計特殊出生率</td> <td>1.65 (2016年度)</td> <td>1.84</td> <td>更なる増加を目指す</td> </tr> </tbody> </table>		現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性	<意識系> 妊娠・出産について満足している市民の割合	80.1% (2016年度)	85.0%	更なる増加を目指す	<データ系> 18歳以下の児童数（3月31日現在/年）	24,083人 (2016年度)	24,500人	更なる増加を目指す	<データ系> 乳幼児健診受診率	96.1% (2016年度)	96.7%	更なる増加を目指す	<データ系> 合計特殊出生率	1.65 (2016年度)	1.84	更なる増加を目指す	<p>（2）成果指標</p> <table border="1" data-bbox="1510 1213 2778 1560"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値 (年度)</th> <th>目標値 (2022年度)</th> <th>目標達成の 方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><意識系> 妊娠・出産について満足している市民の割合</td> <td>80.1% (2016年度)</td> <td>85.0%</td> <td>更なる増加を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 18歳以下の児童数（3月31日現在/年）</td> <td>24,083人 (2016年度)</td> <td>24,500人</td> <td>更なる増加を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 乳幼児健診受診率</td> <td>96.1% (2016年度)</td> <td>96.7%</td> <td>更なる増加を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 合計特殊出生率</td> <td>1.65 (2016年度)</td> <td>1.84</td> <td>更なる増加を目指す</td> </tr> </tbody> </table>		現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性	<意識系> 妊娠・出産について満足している市民の割合	80.1% (2016年度)	85.0%	更なる増加を目指す	<データ系> 18歳以下の児童数（3月31日現在/年）	24,083人 (2016年度)	24,500人	更なる増加を目指す	<データ系> 乳幼児健診受診率	96.1% (2016年度)	96.7%	更なる増加を目指す	<データ系> 合計特殊出生率	1.65 (2016年度)	1.84	更なる増加を目指す
	現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性																																						
<意識系> 妊娠・出産について満足している市民の割合	80.1% (2016年度)	85.0%	更なる増加を目指す																																						
<データ系> 18歳以下の児童数（3月31日現在/年）	24,083人 (2016年度)	24,500人	更なる増加を目指す																																						
<データ系> 乳幼児健診受診率	96.1% (2016年度)	96.7%	更なる増加を目指す																																						
<データ系> 合計特殊出生率	1.65 (2016年度)	1.84	更なる増加を目指す																																						
	現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性																																						
<意識系> 妊娠・出産について満足している市民の割合	80.1% (2016年度)	85.0%	更なる増加を目指す																																						
<データ系> 18歳以下の児童数（3月31日現在/年）	24,083人 (2016年度)	24,500人	更なる増加を目指す																																						
<データ系> 乳幼児健診受診率	96.1% (2016年度)	96.7%	更なる増加を目指す																																						
<データ系> 合計特殊出生率	1.65 (2016年度)	1.84	更なる増加を目指す																																						
<p>（4）施策の基本事業 ① 妊娠期から乳幼児期までの切れ目のない支援の充実 安心して妊娠・出産や子育てができるよう、妊婦や乳幼児を対象とした健康診査、健康相談、特定不妊治療等への支援、産後ケアなどの支援体制の充実を図ります。 また、地域子育て支援センターの機能充実や周知広報に努めるとともに、「霧島市こどもセンター」を核として、各地区の子育て支援センターとの連携を強化します。</p>	<p>（4）施策の基本事業 ① 妊娠期から乳幼児期までの切れ目のない支援の充実 安心して妊娠・出産や子育てができるよう、妊婦や乳幼児を対象とした健康診査、健康相談、特定不妊治療等への支援、産後ケアなどの支援体制の充実を図ります。 また、地域子育て支援センターの機能充実や周知広報に努めるとともに、「霧島市こどもセンター」を核として、各地区の子育て支援センターとの連携を強化します。</p>																																								

変更後	変更前（第7回審議会）
<p>② 多様なニーズに応じた子育て環境の充実 <u>親子で楽しめる遊びや学びの場を提供するとともに、子育て情報の提供や保護者同士のつながりへの支援、関係機関との連携・情報の共有等、地域全体で子育てを支援する環境づくりを推進します。</u> <u>また、</u>勤労形態の多様化等に伴う様々な保育ニーズに対応するため、関係機関と連携し、一時預かり、延長保育、病児・病後児保育など保育サービスの充実に努めます。 <u>さらに、</u>待機児童等の状況や生活圏・就労圏などの地域性を考慮し、<u>保育所、幼稚園、認定こども園、放課後児童クラブ等の子育て環境の充実に努めます。</u></p> <p>③ 子育てに関する負担軽減の推進 子育て家庭に対する児童手当・子ども医療費助成などを継続的に実施するとともに、効果的でニーズに即した支援策を講じることにより、子どもを産み育てるために必要な経済的負担の軽減に努めます。 また、ひとり親家庭の生活安定や自立を促進するため、関係機関と連携した就労支援や資格取得のための支援を行います。</p>	<p>② 多様なニーズに応じた保育の充実 勤労形態の多様化等に伴う様々な保育ニーズに対応するため、関係機関と連携し、一時預かり、延長保育、病児・病後児保育など保育サービスの充実に努めます。 <u>また、</u>待機児童等の状況や生活圏・就労圏などの地域性を考慮し、<u>保育所や認定こども園、放課後児童クラブ等の適正配置に努めます。</u></p> <p>③ 子育てに関する負担軽減の推進 子育て家庭に対する児童手当・子ども医療費助成などを継続的に実施するとともに、効果的でニーズに即した支援策を講じることにより、子どもを産み育てるために必要な経済的負担の軽減に努めます。 また、ひとり親家庭の生活安定や自立を促進するため、関係機関と連携した就労支援や資格取得のための支援を行います。</p>

変更後	変更前（第7回審議会）																																																
<p style="text-align: center;">3-5 社会保障制度の円滑な運営</p>	<p style="text-align: center;">3-5 社会保障制度の円滑な運営</p>																																																
<p><目指す姿> 生活に課題を抱える人または世帯が、必要な支援を受けながら、自立し安定した生活を送ることができる体制を構築します。 また、医療保険制度や介護保険制度については、給付の適正化に取り組み、関係機関と連携して、制度の安定的な運営に努めます。</p>	<p><目指す姿> 生活に課題を抱える人または世帯が、必要な支援を受けながら、自立し安定した生活を送ることができる体制を構築します。 また、医療保険制度や介護保険制度については、給付の適正化に取り組み、関係機関と連携して、制度の安定的な運営に努めます。</p>																																																
<p>（1）施策の現状と課題 本市の生活保護受給者は、年々増加傾向にあることから、生活保護者の自立に向けた支援など、きめ細かな対応を行うとともに、生活保護費の適正な給付に努める必要があります。 生活保護に至る前の段階にある生活困窮者については、相談支援や住居確保支援等に取り組むとともに、経済的な問題のみならず、複合的な課題に対し、包括的・継続的に支援できる体制を構築し、経済的・社会的な自立を促進する必要があります。 また、少子高齢化や人口減少の進行、医療の高度化など、社会保障を取り巻く環境が大きく変化する中、将来的な社会保障制度運営に与える影響が懸念されています。本市においても、医療保険と介護保険の給付費が増加傾向にあることから、給付費の適正化を推進していく必要があります。 さらに、国民年金制度は老後の生活安定に欠かせない社会保障制度であることから、制度に対する理解を深めてもらうための取組を行うことにより、市民の年金受給権の確保に努める必要があります。</p>	<p>（1）施策の現状と課題 本市の生活保護受給者は、年々増加傾向にあることから、生活保護者の自立に向けた支援など、きめ細かな対応を行うとともに、生活保護費の適正な給付に努める必要があります。 生活保護に至る前の段階にある生活困窮者については、相談支援や住居確保支援等に取り組むとともに、経済的な問題のみならず、複合的な課題に対し、包括的・継続的に支援できる体制を構築し、経済的・社会的な自立を促進する必要があります。 また、少子高齢化や人口減少の進行、医療の高度化など、社会保障を取り巻く環境が大きく変化する中、将来的な社会保障制度運営に与える影響が懸念されています。本市においても、医療保険と介護保険の給付費が増加傾向にあることから、給付費の適正化を推進していく必要があります。 さらに、国民年金制度は老後の生活安定に欠かせない社会保障制度であることから、制度に対する理解を深めてもらうための取組を行うことにより、市民の年金受給権の確保に努める必要があります。</p>																																																
<p>（2）成果指標</p> <table border="1" data-bbox="181 1213 1448 1665"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値 (年度)</th> <th>目標値 (2022年度)</th> <th>目標達成の 方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><データ系> 国民健康保険の被保険者一人当たりの医療諸費</td> <td>440,737円 (2016年度)</td> <td>497,000円</td> <td>増加の抑制 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 人口（推計人口）1,000人当たりの生活保護受給者数</td> <td>14.0人 (2016年度)</td> <td>15.7人</td> <td>増加の抑制 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> <u>介護保険第1号被保険者一人当たりの給付月額と の比較（本市平均ー全国平均）</u></td> <td><u>1,737円</u> (2016年度)</td> <td><u>1,300円</u></td> <td><u>更なる減少</u> <u>を目指す</u></td> </tr> <tr> <td><データ系> 就労等により自立した生活保護世帯数</td> <td>27世帯 (2016年度)</td> <td>50世帯</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> <u>特定健診受診率（国民健康保険）</u></td> <td><u>47.3%</u> (2015年度)</td> <td><u>60.0%</u></td> <td><u>更なる増加</u> <u>を目指す</u></td> </tr> </tbody> </table>		現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性	<データ系> 国民健康保険の被保険者一人当たりの医療諸費	440,737円 (2016年度)	497,000円	増加の抑制 を目指す	<データ系> 人口（推計人口）1,000人当たりの生活保護受給者数	14.0人 (2016年度)	15.7人	増加の抑制 を目指す	<データ系> <u>介護保険第1号被保険者一人当たりの給付月額と の比較（本市平均ー全国平均）</u>	<u>1,737円</u> (2016年度)	<u>1,300円</u>	<u>更なる減少</u> <u>を目指す</u>	<データ系> 就労等により自立した生活保護世帯数	27世帯 (2016年度)	50世帯	更なる増加 を目指す	<データ系> <u>特定健診受診率（国民健康保険）</u>	<u>47.3%</u> (2015年度)	<u>60.0%</u>	<u>更なる増加</u> <u>を目指す</u>	<p>（2）成果指標</p> <table border="1" data-bbox="1507 1213 2775 1665"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値 (年度)</th> <th>目標値 (2022年度)</th> <th>目標達成の 方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><データ系> 国民健康保険の被保険者一人当たりの医療諸費</td> <td>440,737円 (2016年度)</td> <td>497,000円</td> <td>増加の抑制 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 人口（推計人口）1,000人当たりの生活保護受給者数</td> <td>14.0人 (2016年度)</td> <td>15.7人</td> <td>増加の抑制 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> <u>認定者のうち介護サービス（居宅・地域密着型・施設）を受 けている者の割合</u></td> <td><u>89.5%</u> (2016年度)</td> <td><u>92.5%</u></td> <td><u>更なる増加</u> <u>を目指す</u></td> </tr> <tr> <td><データ系> 就労等により自立した生活保護世帯数</td> <td>27世帯 (2016年度)</td> <td>50世帯</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性	<データ系> 国民健康保険の被保険者一人当たりの医療諸費	440,737円 (2016年度)	497,000円	増加の抑制 を目指す	<データ系> 人口（推計人口）1,000人当たりの生活保護受給者数	14.0人 (2016年度)	15.7人	増加の抑制 を目指す	<データ系> <u>認定者のうち介護サービス（居宅・地域密着型・施設）を受 けている者の割合</u>	<u>89.5%</u> (2016年度)	<u>92.5%</u>	<u>更なる増加</u> <u>を目指す</u>	<データ系> 就労等により自立した生活保護世帯数	27世帯 (2016年度)	50世帯	更なる増加 を目指す				
	現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性																																														
<データ系> 国民健康保険の被保険者一人当たりの医療諸費	440,737円 (2016年度)	497,000円	増加の抑制 を目指す																																														
<データ系> 人口（推計人口）1,000人当たりの生活保護受給者数	14.0人 (2016年度)	15.7人	増加の抑制 を目指す																																														
<データ系> <u>介護保険第1号被保険者一人当たりの給付月額と の比較（本市平均ー全国平均）</u>	<u>1,737円</u> (2016年度)	<u>1,300円</u>	<u>更なる減少</u> <u>を目指す</u>																																														
<データ系> 就労等により自立した生活保護世帯数	27世帯 (2016年度)	50世帯	更なる増加 を目指す																																														
<データ系> <u>特定健診受診率（国民健康保険）</u>	<u>47.3%</u> (2015年度)	<u>60.0%</u>	<u>更なる増加</u> <u>を目指す</u>																																														
	現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性																																														
<データ系> 国民健康保険の被保険者一人当たりの医療諸費	440,737円 (2016年度)	497,000円	増加の抑制 を目指す																																														
<データ系> 人口（推計人口）1,000人当たりの生活保護受給者数	14.0人 (2016年度)	15.7人	増加の抑制 を目指す																																														
<データ系> <u>認定者のうち介護サービス（居宅・地域密着型・施設）を受 けている者の割合</u>	<u>89.5%</u> (2016年度)	<u>92.5%</u>	<u>更なる増加</u> <u>を目指す</u>																																														
<データ系> 就労等により自立した生活保護世帯数	27世帯 (2016年度)	50世帯	更なる増加 を目指す																																														

4-1 立志と将来への希望を育む学校教育の充実

4-1 立志と将来への希望を育む学校教育の充実

<目指す姿>

子どもたちの学力や健康、豊かな心を育み、本市の発展を支えていく人材を育成するため、教職員の資質向上や安全・安心な教育環境の整備に努めるとともに、地域や関係機関と連携した学校支援体制を構築し、特色ある教育活動を推進します。

また、市立国分中央高校においては、魅力ある専門高等学校として、歴史・伝統を継承しつつ、時代と社会の変化に対応できる人材の育成を目指し、更なる活性化に取り組みます。

<目指す姿>

子どもたちの学力や健康、豊かな心を育み、本市の発展を支えていく人材を育成するため、教職員の資質向上や安全・安心な教育環境の整備に努めるとともに、地域や関係機関と連携した学校支援体制を構築し、特色ある教育活動を推進します。

また、市立国分中央高校においては、魅力ある専門高等学校として、歴史・伝統を継承しつつ、時代と社会の変化に対応できる人材の育成を目指し、更なる活性化に取り組みます。

(1) 施策の現状と課題

全国学力・学習状況調査の結果によると、本市の児童生徒の学力は、全国・県の平均値を下回っていることから、個に応じた指導の充実や分かる授業の実践により、確かな学力の定着を図る必要があります。

一方で、子どもたちの能力・可能性を十分に伸ばすためには、教員の資質や能力の向上が必要不可欠ですが、教員の長時間勤務など、子どもと十分に向き合うことができない状況もあることから、教員一人ひとりが担うべき業務に専念でき、意欲と能力を最大限に発揮できる環境整備を推進する必要があります。

また、不登校への対応、特別支援教育の充実、安全・安心で質の高い教育環境の整備などの課題が指摘されていることから、学校・家庭・地域が一体となった教育の一層の充実が求められるとともに、学校の特色を生かした教育活動の推進のため、地域の多様な人材の活用や特認校制度の広報など、地域に開かれた学校づくりを展開していく必要があります。

市立国分中央高校においては、屋内運動場など学校施設の整備を進めてきましたが、今後更に、一人ひとりの生徒に合わせた進路指導等の充実を図るとともに、募集定員の確保に向けた取組を強化していく必要があります。

(1) 施策の現状と課題

全国学力・学習状況調査の結果によると、本市の児童生徒の学力は、全国・県の平均値を下回っていることから、個に応じた指導の充実や分かる授業の実践により、確かな学力の定着を図る必要があります。

一方で、子どもたちの能力・可能性を十分に伸ばすためには、教員の資質や能力の向上が必要不可欠ですが、教員の長時間勤務など、子どもと十分に向き合うことができない状況もあることから、教員一人ひとりが担うべき業務に専念でき、意欲と能力を最大限に発揮できる環境整備を推進する必要があります。

また、不登校への対応、特別支援教育の充実、安全・安心で質の高い教育環境の整備などの課題が指摘されていることから、学校・家庭・地域が一体となった教育の一層の充実が求められるとともに、学校の特色を生かした教育活動の推進のため、地域の多様な人材の活用や特認校制度の広報など、地域に開かれた学校づくりを展開していく必要があります。

市立国分中央高校においては、屋内運動場など学校施設の整備を進めてきましたが、今後更に、一人ひとりの生徒に合わせた進路指導等の充実を図るとともに、募集定員の確保に向けた取組を強化していく必要があります。

(2) 成果指標

	現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性
<意識系> 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	62.4% (2017年度)	65.0%	更なる増加 を目指す
<意識系> 小・中学生のあいさつや交通ルールを守るマナーが、2、3年前と比べて良くなっていると思う市民の割合	47.8% (2017年度)	60.3%	更なる増加 を目指す
<データ系> 学習定着度調査における平均正答率の県との比較	△2.2 (2016年度)	1.5	更なる増加 を目指す
<データ系> 規範意識の高い児童生徒の割合	62.5% (2016年度)	65.0%	更なる増加 を目指す
<データ系> 体力テスト（小・中学校）における平均値の県との比較	0.2 (2016年度)	1.7	更なる増加 を目指す

(2) 成果指標

	現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性
<意識系> 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	62.4% (2017年度)	65.0%	更なる増加 を目指す
<意識系> 小・中学生のあいさつや交通ルールを守るマナーが、2、3年前と比べて良くなっていると思う市民の割合	47.8% (2017年度)	60.3%	更なる増加 を目指す
<データ系> 学習定着度調査における平均正答率の県との比較	△2.2 (2016年度)	1.5	更なる増加 を目指す
<データ系> 規範意識の高い児童生徒の割合	62.5% (2016年度)	65.0%	更なる増加 を目指す
<データ系> 体力テスト（小・中学校）における平均値の県との比較	0.2 (2016年度)	1.7	更なる増加 を目指す

変更後	変更前（第7回審議会）
<p>（４）施策の基本事業</p> <p>① 夢実現のための学力の向上と個性を育む教育の推進</p> <p>児童生徒の基礎的・基本的な知識の定着を図るとともに、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善などを通じて、思考力・判断力・表現力等の育成や問題を自らの力で解決していこうとする主体的な態度を育みます。</p> <p>また、各学校の学力向上に対する取組の評価・改善手法の更なる充実を図るとともに、個人差や個性等を考慮した指導法の改善や個別指導の在り方について支援を行うなど、教職員の資質向上に努めます。</p> <p>さらに、子どもたちが自分の生き方や働き方について考え、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育成するキャリア教育の充実を図ります。</p> <p>② 豊かな心の育成と個性を生かす支援体制の充実</p> <p>いじめや不登校、暴力行為等のない学校づくりを推進するとともに、関係機関と連携し、これらに対する相談体制の充実を図ります。</p> <p>また、児童生徒の思いやりの心やあいさつ、規範意識を高める「命の教育の日」、「ほめる運動」等の具体的な取組を通して、自他の大切さを認めることができる子どもたちを育成します。</p> <p>さらに、障害のある子どもたちの教育的ニーズに応じた指導・支援の充実や学習環境の整備を行い、一人ひとりに応じた自立と社会参加の実現を図ります。</p> <p>③ 安全で安心な学校づくりと食育・体育の推進</p> <p>スクールガードリーダーや防犯ボランティア等との連携をはじめ、地域・学校・家庭が一体となって、児童生徒の登下校時の安全確保に努めます。</p> <p>また、耐震化や老朽化対策を通じて、学校施設の長寿命化を図るとともに、社会環境の変化等に伴う多様なニーズに即した施設整備を行うことにより、安全で質の高い学校づくりを推進します。</p> <p>さらに、生涯にわたって健康的な生活を送るために必要な体力の向上や生活習慣の形成、食育の取組を通じて、健やかな体を育みます。</p> <p>④ 地域や学校の特色を生かした教育活動と教育支援の推進</p> <p>地域の多様な人材との交流体験などを通じ、教育活動の活性化を図るとともに、郷土を愛する心を養い、これからの社会づくりに貢献しようとする子どもたちを育成します。</p> <p>また、地域と連携して、特認校制度や山村留学制度の広報・体験活動の強化を図ることにより、小規模校の児童生徒を確保し、学校及び地域の活性化に努めます。</p> <p>さらに、学校運営の改善と発展を目指す「学校関係者評価」の充実を通して、開かれた学校づくりを推進します。</p> <p><u>加えて、経済的理由等で修学困難な生徒や学生へ奨学金を貸与することにより、安心して教育が受けられる環境づくりに努めます。</u></p>	<p>（４）施策の基本事業</p> <p>① 夢実現のための学力の向上と個性を育む教育の推進</p> <p>児童生徒の基礎的・基本的な知識の定着を図るとともに、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善などを通じて、思考力・判断力・表現力等の育成や問題を自らの力で解決していこうとする主体的な態度を育みます。</p> <p>また、各学校の学力向上に対する取組の評価・改善手法の更なる充実を図るとともに、個人差や個性等を考慮した指導法の改善や個別指導の在り方について支援を行うなど、教職員の資質向上に努めます。</p> <p>さらに、子どもたちが自分の生き方や働き方について考え、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育成するキャリア教育の充実を図ります。</p> <p>② 豊かな心の育成と個性を生かす支援体制の充実</p> <p>いじめや不登校、暴力行為等のない学校づくりを推進するとともに、関係機関と連携し、これらに対する相談体制の充実を図ります。</p> <p>また、児童生徒の思いやりの心やあいさつ、規範意識を高める「命の教育の日」、「ほめる運動」等の具体的な取組を通して、自他の大切さを認めることができる子どもたちを育成します。</p> <p>さらに、障害のある子どもたちの教育的ニーズに応じた指導・支援の充実や学習環境の整備を行い、一人ひとりに応じた自立と社会参加の実現を図ります。</p> <p>③ 安全で安心な学校づくりと食育・体育の推進</p> <p>スクールガードリーダーや防犯ボランティア等との連携をはじめ、地域・学校・家庭が一体となって、児童生徒の登下校時の安全確保に努めます。</p> <p>また、耐震化や老朽化対策を通じて、学校施設の長寿命化を図るとともに、社会環境の変化等に伴う多様なニーズに即した施設整備を行うことにより、安全で質の高い学校づくりを推進します。</p> <p>さらに、生涯にわたって健康的な生活を送るために必要な体力の向上や生活習慣の形成、食育の取組を通じて、健やかな体を育みます。</p> <p>④ 地域や学校の特色を生かした教育活動と教育支援の推進</p> <p>地域の多様な人材との交流体験などを通じ、教育活動の活性化を図るとともに、郷土を愛する心を養い、これからの社会づくりに貢献しようとする子どもたちを育成します。</p> <p>また、地域と連携して、特認校制度や山村留学制度の広報・体験活動の強化を図ることにより、小規模校の児童生徒を確保し、学校及び地域の活性化に努めます。</p> <p>さらに、学校運営の改善と発展を目指す「学校関係者評価」の充実を通して、開かれた学校づくりを推進します。</p>

変更後	変更前（第7回審議会）
<p>⑤ 専門高校としての魅力を高める高等学校教育の充実</p> <p>国分中央高校の活力、専門性、教育水準の維持向上を図り、地域に信頼され魅力ある学校づくりに取り組むとともに、歴史・伝統を継承しつつ、時代のニーズに即応した高度な専門的技術や知識を持った人材の育成に努めます。</p> <p>また、進学・就職指導の充実を図るとともに、募集定員の確保に向けた取組を強化します。</p> <p>(5) みんなができること</p> <div data-bbox="172 537 1285 898" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><家庭></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「早寝・早起き・朝ごはん」を実践し、学年に応じた家庭学習の習慣化や健康づくりのための運動習慣を身につけましょう。 ・学校や地域の各種行事への積極的な参加に努めましょう。 ・<u>合同企業説明会や工場等見学会などの機会を通じ、市内の企業に関心を持ちましょう。</u> <p><地域></p> <ul style="list-style-type: none"> ・登下校時の交通安全指導や子どもたちへのあいさつ、「励まし」の声かけをしましょう。 </div>	<p>⑤ 専門高校としての魅力を高める高等学校教育の充実</p> <p>国分中央高校の活力、専門性、教育水準の維持向上を図り、地域に信頼され魅力ある学校づくりに取り組むとともに、歴史・伝統を継承しつつ、時代のニーズに即応した高度な専門的技術や知識を持った人材の育成に努めます。</p> <p>また、進学・就職指導の充実を図るとともに、募集定員の確保に向けた取組を強化します。</p> <p>(5) みんなができること</p> <div data-bbox="1492 537 2605 898" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><家庭></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「早寝・早起き・朝ごはん」を実践し、学年に応じた家庭学習の習慣化や健康づくりのための運動習慣を身につけましょう。 ・<u>一家庭一家訓を決めて、子どもをほめて育てましょう。</u> ・学校や地域の各種行事への積極的な参加に努めましょう。 ・<u>地元企業への就職をすすめましょう。</u> <p><地域></p> <ul style="list-style-type: none"> ・登下校時の交通安全指導や子どもたちへのあいさつ、「励まし」の声かけをしましょう。 </div>

変更後	変更前（第7回審議会）
<p data-bbox="160 268 1445 310">4-2 多様な学びを支援する社会教育の充実</p> <div data-bbox="160 359 1445 674" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="160 365 320 394"><目指す姿></p> <p data-bbox="160 411 1445 487">体験活動等を通して、心と体のバランスがとれた「きりしまっ子」を育成し、子ども達が夢や目標を持つ心を育むとともに、地域ぐるみで青少年を育成する気運を醸成し、家庭や地域の教育力の向上を図ります。</p> <p data-bbox="160 499 1445 575"><u>また、市民の学習環境の充実に努めるとともに、地域の課題に対する学びとそれを実践する「循環」の仕組みづくりや支援に努めます。</u></p> <p data-bbox="160 588 1445 663">さらに、市民が文化財を学び知る機会を積極的に設け、郷土づくりの意識や自発的な保存活動の高揚を促進します。</p> </div> <p data-bbox="160 724 457 753">（1）施策の現状と課題</p> <p data-bbox="160 770 1463 934">人口減少や核家族化、地域における連帯感の希薄化などを背景に、家庭や地域の教育力が低下するとともに、人と人との結びつきが弱まりつつあります。併せて、インターネットなどの急速な普及により、情報を得ることが容易になった反面、有害な情報へ触れる機会も増え、子どもの人格形成にまで悪影響を及ぼす可能性も指摘されています。</p> <p data-bbox="160 947 1463 1068">このような社会環境の変化の中で、青少年の豊かな感受性を養うためには、誰もが親としてのあり方を常に振り返るよう家庭教育を充実させるとともに、家庭・地域・学校が連携し、青少年育成のための健全な社会環境づくりに努める必要があります。</p> <p data-bbox="160 1081 1463 1203"><u>また、地域が抱える課題の解決のためには、学び合いを通じて、地域の新たなつながりを育んでいくことが必要であることから、全ての市民が、それぞれの意欲や必要に応じて学習できる環境の整備・充実や、学びの成果が地域での活動等に結びつくような学習機会の充実が求められます。</u></p> <p data-bbox="160 1215 1463 1379">さらに、本市は、個性豊かな郷土芸能や伝統行事、史跡など、多くの伝統文化を有していますが、少子高齢化に伴う担い手不足などにより、保全・継承が困難になっています。そのため、学校や地域などと連携して、郷土に誇りを持つ心を醸成し、後継者の育成に努めるとともに、歴史・文化を生かした地域づくりの推進など、観光資源としての魅力向上、まちづくりへの活用等にも積極的に取り組む必要があります。</p>	<p data-bbox="1489 268 2775 310">4-2 多様な学びを支援する社会教育の充実</p> <div data-bbox="1489 359 2775 674" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="1489 365 1650 394"><目指す姿></p> <p data-bbox="1489 411 2775 487">体験活動等を通して、心と体のバランスがとれた「きりしまっ子」を育成し、子ども達が夢や目標を持つ心を育むとともに、地域ぐるみで青少年を育成する気運を醸成し、家庭や地域の教育力の向上を図ります。</p> <p data-bbox="1489 499 2775 575"><u>また、就労世代の学習意欲を高めるなど、市民全体の学びの意識の向上を図るとともに、学習環境の充実に努めます。</u></p> <p data-bbox="1489 588 2775 663">さらに、市民が文化財を学び知る機会を積極的に設け、郷土づくりの意識や自発的な保存活動の高揚を促進します。</p> </div> <p data-bbox="1489 724 1786 753">（1）施策の現状と課題</p> <p data-bbox="1489 770 2792 934">人口減少や核家族化、地域における連帯感の希薄化などを背景に、家庭や地域の教育力が低下するとともに、人と人との結びつきが弱まりつつあります。併せて、インターネットなどの急速な普及により、情報を得ることが容易になった反面、有害な情報へ触れる機会も増え、子どもの人格形成にまで悪影響を及ぼす可能性も指摘されています。</p> <p data-bbox="1489 947 2792 1068">このような社会環境の変化の中で、青少年の豊かな感受性を養うためには、誰もが親としてのあり方を常に振り返るよう家庭教育を充実させるとともに、家庭・地域・学校が連携し、青少年育成のための健全な社会環境づくりに努める必要があります。</p> <p data-bbox="1489 1081 2792 1203"><u>また、それぞれの意欲や必要に応じて学習できる環境の整備・充実が求められていることから、多様化・高度化するニーズに即した学習機会の提供を図るとともに、老朽化が著しい施設等の整備を行い、市民が学習しやすい環境づくりに努める必要があります。</u></p> <p data-bbox="1489 1215 2792 1379">さらに、本市は、個性豊かな郷土芸能や伝統行事、史跡など、多くの伝統文化を有していますが、少子高齢化に伴う担い手不足などにより、保全・継承が困難になっています。そのため、学校や地域などと連携して、郷土に誇りを持つ心を醸成し、後継者の育成に努めるとともに、歴史・文化を生かした地域づくりの推進など、観光資源としての魅力向上、まちづくりへの活用等にも積極的に取り組む必要があります。</p>

変更後				変更前（第7回審議会）			
（2）成果指標				（2）成果指標			
	現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性		現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性
<意識系> 青少年の他人に迷惑をかけるという行動が、2. 3年前と比べて減ったと考える市民の割合	16.3% (2017年度)	23.5%	更なる増加 を目指す	<意識系> 青少年の他人に迷惑をかけるという行動が、2. 3年前と比べて減ったと考える市民の割合	16.3% (2017年度)	23.5%	更なる増加 を目指す
<意識系> 学習している市民の割合	54.5% (2017年度)	57.0%	更なる増加 を目指す	<意識系> 学習している市民の割合	54.5% (2017年度)	57.0%	更なる増加 を目指す
<データ系> 住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合	59.1% (2016年度)	62.5%	更なる増加 を目指す	<データ系> 住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合	59.1% (2016年度)	62.5%	更なる増加 を目指す
<データ系> 公民館定期講座申込者に占める新規申込者の割合	62.6% (2017年度)	77.0%	更なる増加 を目指す	<データ系> 公民館定期講座申込者に占める新規申込者の割合	62.6% (2017年度)	77.0%	更なる増加 を目指す
<データ系> 過去1年間の文化財保存・伝承活動の実践者及び参加者の人数	10,838人 (2016年度)	11,500人	更なる増加 を目指す	<データ系> 過去1年間の文化財保存・伝承活動の実践者及び参加者の人数	10,838人 (2016年度)	11,500人	更なる増加 を目指す
（4）施策の基本事業				（4）施策の基本事業			
① きりしまっ子の豊かな心を育む体験・交流活動の充実				① きりしまっ子の豊かな心を育む体験・交流活動の充実			
豊かな自然環境の中で、様々な体験活動を行い、心と体のバランスがとれた「きりしまっ子」を育成します。				豊かな自然環境の中で、様々な体験活動を行い、心と体のバランスがとれた「きりしまっ子」を育成します。			
また、地域における異年齢集団での様々な体験活動などを通じて、子どもたちの思いやりの心や自律心を育むとともに、多様性や感受性を養うための取組を推進します。				また、地域における異年齢集団での様々な体験活動などを通じて、子どもたちの思いやりの心や自律心を育むとともに、多様性や感受性を養うための取組を推進します。			
さらに、関係機関と連携して、子ども会や青少年団体等への加入推進に努めるとともに、これらの団体等への活動を支援します。				さらに、関係機関と連携して、子ども会や青少年団体等への加入推進に努めるとともに、これらの団体等への活動を支援します。			
② 家庭教育の充実と地域全体での見守りを通じた青少年の健全育成				② 家庭教育の充実と地域全体での見守りを通じた青少年の健全育成			
子どもが基本的な生活習慣を身に付け、自立した社会生活を送ることができるよう、地域ぐるみで子育てを支援する環境整備を図ります。				子どもが基本的な生活習慣を身に付け、自立した社会生活を送ることができるよう、地域ぐるみで子育てを支援する環境整備を図ります。			
また、親としての学び、親になるための学びなど、家庭教育を支援するための学習機会や情報の提供等を図るとともに、学校や地域、警察、校区青少年育成連絡会などの関係機関と連携して、青少年の健全育成に努めます。				また、親としての学び、親になるための学びなど、家庭教育を支援するための学習機会や情報の提供等を図るとともに、学校や地域、警察、校区青少年育成連絡会などの関係機関と連携して、青少年の健全育成に努めます。			
③ 自ら学び、高め合う体制づくりと学習環境の充実				③ 自ら学び、高め合う体制づくりと学習環境の充実			
多様化・高度化するニーズに対応し、関係機関と連携した学習機会や学習内容の充実に努めるとともに、市民が、必要な情報を容易に入手できるよう、広報誌や図書館システムなどを活用した情報提供を行います。				多様化・高度化するニーズに対応し、関係機関と連携した学習機会や学習内容の充実に努めるとともに、市民が、必要な情報を容易に入手できるよう、広報誌や図書館システムなどを活用した情報提供を行います。			
<u>また、社会教育施設の改修やメディアセンター等の機器の更新を通じ、市民が利用しやすい学習環境の整備に努めるとともに、社会教育における学びを通して、地域を知り、課題に気づくことで、その解決に向けた活動に繋がる場や機会の充実に努めます。</u>				<u>また、老朽化した施設の改修やメディアセンター等の機器の更新を通じ、利用しやすい学習環境の整備に努めます。</u>			

変更後	変更前（第7回審議会）																																																
<p data-bbox="160 268 1445 310">5-1 市民参画でつながる地域社会の形成</p> <div data-bbox="160 359 1445 627" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="160 365 320 394"><目指す姿></p> <p data-bbox="160 409 1445 485">立場の異なる様々な主体が、適切な役割分担のもとに連携し、相乗効果を高めながら、地域への愛着を深めることで、暮らしやすく、魅力ある地域社会の形成を目指します。</p> <p data-bbox="160 499 1445 621">また、霧島市国際交流協会や関係団体等と連携・協働しながら、多くの市民の参加により、姉妹都市をはじめとする、国内外の都市との多彩な交流を進めるとともに、国際感覚を身につけ、世界で活躍できる人材の育成に積極的に取り組みます。</p> </div> <p data-bbox="160 680 457 709">（1）施策の現状と課題</p> <p data-bbox="160 724 1445 892">市民にとって最も身近な住民組織である地区自治公民館・自治会は、防災・防犯、子育て、高齢者の見守り、環境美化等、市民が生活する上での様々な問題を解決する役割を担っていますが、人口減少やライフスタイルの多様化、地域における連帯感の希薄化などにより、単独の自治会等による地域課題の解決が困難な状況が見受けられます。</p> <p data-bbox="160 907 1445 1024">また、地域では、リーダーの高齢化や自治会役員への負担の集中等の課題があるほか、全市的に自治会加入率は減少傾向にあることから、地域活動を担うリーダーや新しい公共の担い手となる NPO 等の団体が育つ環境を整備していく必要があります。</p> <p data-bbox="160 1039 1445 1115">さらに、「道義高揚・豊かな心推進宣言都市」として道徳の振興を図るため、関連事業の普及・啓発を更に推進していく必要があります。</p> <p data-bbox="160 1129 1445 1247">近年、国や地域を越え、人・もの・情報等の移動が世界的に拡大していることから、国内外の様々な都市との交流を通じ、異文化に対する正しい認識や魅力などを広く伝えるとともに、霧島市国際交流協会等との連携を強化し、市民レベルでの交流の拡大やグローバル人材の育成を進めていく必要があります。</p> <p data-bbox="160 1310 344 1339">（2）成果指標</p> <table border="1" data-bbox="181 1346 1445 1766"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値 (年度)</th> <th>目標値 (2022年度)</th> <th>目標達成の 方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><意識系> まちづくり活動に参加している市民の割合</td> <td>53.8% (2016年度)</td> <td>59.0%</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> まちづくりや地域活動を行っている市民団体数</td> <td>1,491 団体 (2016年度)</td> <td>1,530 団体</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> まちづくりや地域活動等の支援制度を活用した市民団体数</td> <td>589 団体 (2016年度)</td> <td>630 団体</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 国内外の姉妹都市等との交流事業等に参加したのべ人数</td> <td>159 人 (2016年度)</td> <td>178 人</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 自治会加入率</td> <td>62.3% (2017年度)</td> <td>70.0%</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> </tbody> </table>		現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性	<意識系> まちづくり活動に参加している市民の割合	53.8% (2016年度)	59.0%	更なる増加 を目指す	<データ系> まちづくりや地域活動を行っている市民団体数	1,491 団体 (2016年度)	1,530 団体	更なる増加 を目指す	<データ系> まちづくりや地域活動等の支援制度を活用した市民団体数	589 団体 (2016年度)	630 団体	更なる増加 を目指す	<データ系> 国内外の姉妹都市等との交流事業等に参加したのべ人数	159 人 (2016年度)	178 人	更なる増加 を目指す	<データ系> 自治会加入率	62.3% (2017年度)	70.0%	更なる増加 を目指す	<p data-bbox="1489 268 2775 310">5-1 市民参画でつながる地域社会の形成</p> <div data-bbox="1489 359 2775 627" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p data-bbox="1489 365 1650 394"><目指す姿></p> <p data-bbox="1489 409 2775 485">立場の異なる様々な主体が、適切な役割分担のもとに連携し、相乗効果を高めながら、地域への愛着を深めることで、暮らしやすく、魅力ある地域社会の形成を目指します。</p> <p data-bbox="1489 499 2775 621">また、霧島市国際交流協会や関係団体等と連携・協働しながら、多くの市民の参加により、姉妹都市をはじめとする、国内外の都市との多彩な交流を進めるとともに、国際感覚を身につけ、世界で活躍できる人材の育成に積極的に取り組みます。</p> </div> <p data-bbox="1489 680 1786 709">（1）施策の現状と課題</p> <p data-bbox="1489 724 2775 892">市民にとって最も身近な住民組織である地区自治公民館・自治会は、防災・防犯、子育て、高齢者の見守り、環境美化等、市民が生活する上での様々な問題を解決する役割を担っていますが、人口減少やライフスタイルの多様化、地域における連帯感の希薄化などにより、単独の自治会等による地域課題の解決が困難な状況が見受けられます。</p> <p data-bbox="1489 907 2775 1024">また、地域では、リーダーの高齢化や自治会役員への負担の集中等の課題があるほか、全市的に自治会加入率は減少傾向にあることから、地域活動を担うリーダーや新しい公共の担い手となる NPO 等の団体が育つ環境を整備していく必要があります。</p> <p data-bbox="1489 1039 2775 1115">さらに、「道義高揚・豊かな心推進宣言都市」として道徳の振興を図るため、関連事業の普及・啓発を更に推進していく必要があります。</p> <p data-bbox="1489 1129 2775 1247">近年、国や地域を越え、人・もの・情報等の移動が世界的に拡大していることから、国内外の様々な都市との交流を通じ、異文化に対する正しい認識や魅力などを広く伝えるとともに、霧島市国際交流協会等との連携を強化し、市民レベルでの交流の拡大やグローバル人材の育成を進めていく必要があります。</p> <p data-bbox="1489 1310 1673 1339">（2）成果指標</p> <table border="1" data-bbox="1510 1346 2775 1766"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値 (年度)</th> <th>目標値 (2022年度)</th> <th>目標達成の 方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><意識系> まちづくり活動に参加している市民の割合</td> <td>53.8% (2016年度)</td> <td>59.0%</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> まちづくりや地域活動を行っている市民団体数</td> <td>1,491 団体 (2016年度)</td> <td>1,530 団体</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> まちづくりや地域活動等の支援制度を活用した市民団体数</td> <td>589 団体 (2016年度)</td> <td>630 団体</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 国内外の姉妹都市等との交流事業等に参加したのべ人数</td> <td>159 人 (2016年度)</td> <td>178 人</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 自治会加入率</td> <td>62.3% (2017年度)</td> <td>67.0%</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> </tbody> </table>		現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性	<意識系> まちづくり活動に参加している市民の割合	53.8% (2016年度)	59.0%	更なる増加 を目指す	<データ系> まちづくりや地域活動を行っている市民団体数	1,491 団体 (2016年度)	1,530 団体	更なる増加 を目指す	<データ系> まちづくりや地域活動等の支援制度を活用した市民団体数	589 団体 (2016年度)	630 団体	更なる増加 を目指す	<データ系> 国内外の姉妹都市等との交流事業等に参加したのべ人数	159 人 (2016年度)	178 人	更なる増加 を目指す	<データ系> 自治会加入率	62.3% (2017年度)	67.0%	更なる増加 を目指す
	現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性																																														
<意識系> まちづくり活動に参加している市民の割合	53.8% (2016年度)	59.0%	更なる増加 を目指す																																														
<データ系> まちづくりや地域活動を行っている市民団体数	1,491 団体 (2016年度)	1,530 団体	更なる増加 を目指す																																														
<データ系> まちづくりや地域活動等の支援制度を活用した市民団体数	589 団体 (2016年度)	630 団体	更なる増加 を目指す																																														
<データ系> 国内外の姉妹都市等との交流事業等に参加したのべ人数	159 人 (2016年度)	178 人	更なる増加 を目指す																																														
<データ系> 自治会加入率	62.3% (2017年度)	70.0%	更なる増加 を目指す																																														
	現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性																																														
<意識系> まちづくり活動に参加している市民の割合	53.8% (2016年度)	59.0%	更なる増加 を目指す																																														
<データ系> まちづくりや地域活動を行っている市民団体数	1,491 団体 (2016年度)	1,530 団体	更なる増加 を目指す																																														
<データ系> まちづくりや地域活動等の支援制度を活用した市民団体数	589 団体 (2016年度)	630 団体	更なる増加 を目指す																																														
<データ系> 国内外の姉妹都市等との交流事業等に参加したのべ人数	159 人 (2016年度)	178 人	更なる増加 を目指す																																														
<データ系> 自治会加入率	62.3% (2017年度)	67.0%	更なる増加 を目指す																																														

変更後

(3) 関連データ



変更前(第7回審議会)

(3) 関連データ



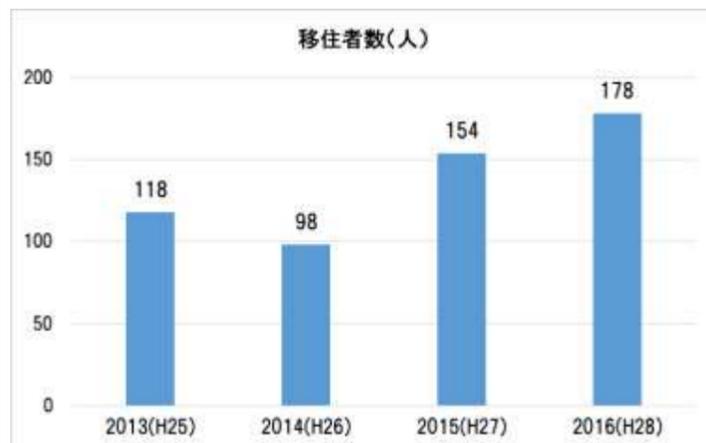
変更後	変更前（第7回審議会）																																																
<p data-bbox="160 268 1445 310">5-2 人権の尊重と男女共同参画の推進</p> <div data-bbox="160 359 1445 495"> <p data-bbox="160 359 326 390"><目指す姿></p> <p data-bbox="160 401 1445 495">一人ひとりが互いに人権を尊重し、国籍・年齢・性の違い、障がいの有無等にかかわらず、多様性を認め合いながら、いきいきと輝き暮らせるまちを目指します。</p> </div> <p data-bbox="160 541 457 573">（1）施策の現状と課題</p> <p data-bbox="160 583 1445 762">学校でのいじめ、子どもや高齢者・障がい者への虐待、DV、部落差別、障がい者や認知症、難病等の人への差別など市民生活においてさまざまな人権問題が存在しています。そのため、これまで以上に学校、地域社会、家庭、事業所等あらゆる場を通じて、人権教育・啓発を推進し、市民一人ひとりの人権が尊重されるまちづくりを進めていく必要があります。</p> <p data-bbox="160 772 1445 940">また、性別による固定的な役割分担意識の解消や政策方針決定の場への女性の参画は進みつつあるものの、十分に浸透しているとはいえない状況です。男女がともに、仕事、家庭、地域生活など、多様な活動を自らの希望に沿った形で展開できるよう、性別による固定的な役割分担意識の是正に向けた意識啓発、ワーク・ライフ・バランスの推進や多様な働き方が選択できる環境づくり等への取組が求められています。</p> <p data-bbox="160 951 1445 1119">平和や非核は全世界共通の願いです。しかしながら、国際社会においては、地域紛争、国際テロなどが多発している状況にあります。戦争の記憶を風化させることなく、平和の尊さや戦争の悲惨さを次世代に受け継いでいくことは、「非核平和宣言都市」として重要な役割であり、平和を尊重する意識の醸成を図ることが一層重要となっています。</p> <p data-bbox="160 1171 350 1203">（2）成果指標</p> <table border="1" data-bbox="181 1213 1445 1728"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値 (年度)</th> <th>目標値 (2022年度)</th> <th>目標達成の 方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><意識系> 日々の生活の中で、身の回りの人権が大事にされていると思う市民の割合</td> <td>51.8% (2017年度)</td> <td>56.8%</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> <tr> <td><意識系> 男女の地位の平等感（家庭及び職場におけるにおいて「(男性の方が優遇されている)」と回答した人の割合）</td> <td>34.9% (2017年度)</td> <td>32.0%</td> <td>更なる減少 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 市が開催する人権にかかわる教育・学習に参加した市民の延べ人数</td> <td>11,800人 (2016年度)</td> <td>12,000人</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 審議会等への女性登用率</td> <td>29.7% (2016年度)</td> <td>40.0%</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> ワーク・ライフ・バランスの推進を行っている企業の割合</td> <td>82.4% (2016年度)</td> <td>88.4%</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> </tbody> </table>		現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性	<意識系> 日々の生活の中で、身の回りの人権が大事にされていると思う市民の割合	51.8% (2017年度)	56.8%	更なる増加 を目指す	<意識系> 男女の地位の平等感（家庭及び職場におけるにおいて「(男性の方が優遇されている)」と回答した人の割合）	34.9% (2017年度)	32.0%	更なる減少 を目指す	<データ系> 市が開催する人権にかかわる教育・学習に参加した市民の延べ人数	11,800人 (2016年度)	12,000人	更なる増加 を目指す	<データ系> 審議会等への女性登用率	29.7% (2016年度)	40.0%	更なる増加 を目指す	<データ系> ワーク・ライフ・バランスの推進を行っている企業の割合	82.4% (2016年度)	88.4%	更なる増加 を目指す	<p data-bbox="1489 268 2775 310">5-2 人権の尊重と男女共同参画の推進</p> <div data-bbox="1489 359 2775 495"> <p data-bbox="1489 359 1656 390"><目指す姿></p> <p data-bbox="1489 401 2775 495">一人ひとりが互いに人権を尊重し、国籍・年齢・性の違い、障がいの有無等にかかわらず、多様性を認め合いながら、いきいきと輝き暮らせるまちを目指します。</p> </div> <p data-bbox="1489 541 1786 573">（1）施策の現状と課題</p> <p data-bbox="1489 583 2775 762">学校でのいじめ、子どもや高齢者・障がい者への虐待、DV、部落差別、障がい者や認知症、難病等の人への差別など市民生活においてさまざまな人権問題が存在しています。そのため、これまで以上に学校、地域社会、家庭、事業所等あらゆる場を通じて、人権教育・啓発を推進し、市民一人ひとりの人権が尊重されるまちづくりを進めていく必要があります。</p> <p data-bbox="1489 772 2775 940">また、性別による固定的な役割分担意識の解消や政策方針決定の場への女性の参画は進みつつあるものの、十分に浸透しているとはいえない状況です。男女がともに、仕事、家庭、地域生活など、多様な活動を自らの希望に沿った形で展開できるよう、性別による固定的な役割分担意識の是正に向けた意識啓発、ワーク・ライフ・バランスの推進や多様な働き方が選択できる環境づくり等への取組が求められています。</p> <p data-bbox="1489 951 2775 1119">平和や非核は全世界共通の願いです。しかしながら、国際社会においては、地域紛争、国際テロなどが多発している状況にあります。戦争の記憶を風化させることなく、平和の尊さや戦争の悲惨さを次世代に受け継いでいくことは、「非核平和宣言都市」として重要な役割であり、平和を尊重する意識の醸成を図ることが一層重要となっています。</p> <p data-bbox="1489 1171 1679 1203">（2）成果指標</p> <table border="1" data-bbox="1510 1213 2775 1728"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値 (年度)</th> <th>目標値 (2022年度)</th> <th>目標達成の 方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><意識系> 日々の生活の中で、身の回りの人権が大事にされていると思う市民の割合</td> <td>51.8% (2017年度)</td> <td>56.8%</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> <tr> <td><意識系> 男女の地位の平等感（家庭及び職場におけるにおいて「(男性の方が優遇されている)」と回答した人の割合）</td> <td>34.9% (2017年度)</td> <td>32.0%</td> <td>更なる減少 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 市が開催する人権にかかわる教育・学習に参加した市民の延べ人数</td> <td>11,800人 (2016年度)</td> <td>12,000人</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 審議会等への女性登用率</td> <td>29.7% (2016年度)</td> <td>35.0%</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> ワーク・ライフ・バランスの推進を行っている企業の割合</td> <td>82.4% (2016年度)</td> <td>88.4%</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> </tbody> </table>		現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性	<意識系> 日々の生活の中で、身の回りの人権が大事にされていると思う市民の割合	51.8% (2017年度)	56.8%	更なる増加 を目指す	<意識系> 男女の地位の平等感（家庭及び職場におけるにおいて「(男性の方が優遇されている)」と回答した人の割合）	34.9% (2017年度)	32.0%	更なる減少 を目指す	<データ系> 市が開催する人権にかかわる教育・学習に参加した市民の延べ人数	11,800人 (2016年度)	12,000人	更なる増加 を目指す	<データ系> 審議会等への女性登用率	29.7% (2016年度)	35.0%	更なる増加 を目指す	<データ系> ワーク・ライフ・バランスの推進を行っている企業の割合	82.4% (2016年度)	88.4%	更なる増加 を目指す
	現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性																																														
<意識系> 日々の生活の中で、身の回りの人権が大事にされていると思う市民の割合	51.8% (2017年度)	56.8%	更なる増加 を目指す																																														
<意識系> 男女の地位の平等感（家庭及び職場におけるにおいて「(男性の方が優遇されている)」と回答した人の割合）	34.9% (2017年度)	32.0%	更なる減少 を目指す																																														
<データ系> 市が開催する人権にかかわる教育・学習に参加した市民の延べ人数	11,800人 (2016年度)	12,000人	更なる増加 を目指す																																														
<データ系> 審議会等への女性登用率	29.7% (2016年度)	40.0%	更なる増加 を目指す																																														
<データ系> ワーク・ライフ・バランスの推進を行っている企業の割合	82.4% (2016年度)	88.4%	更なる増加 を目指す																																														
	現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性																																														
<意識系> 日々の生活の中で、身の回りの人権が大事にされていると思う市民の割合	51.8% (2017年度)	56.8%	更なる増加 を目指す																																														
<意識系> 男女の地位の平等感（家庭及び職場におけるにおいて「(男性の方が優遇されている)」と回答した人の割合）	34.9% (2017年度)	32.0%	更なる減少 を目指す																																														
<データ系> 市が開催する人権にかかわる教育・学習に参加した市民の延べ人数	11,800人 (2016年度)	12,000人	更なる増加 を目指す																																														
<データ系> 審議会等への女性登用率	29.7% (2016年度)	35.0%	更なる増加 を目指す																																														
<データ系> ワーク・ライフ・バランスの推進を行っている企業の割合	82.4% (2016年度)	88.4%	更なる増加 を目指す																																														

変更後	変更前（第7回審議会）																																								
<p data-bbox="160 268 1445 310">5-3 活力ある地域づくりの推進</p> <div data-bbox="160 359 1445 495"> <p><目指す姿> 地域や関係機関と連携し、地域に居住している人たちが、地域そのものに誇りを持つ意識の醸成を図るとともに、関係人口の拡大や移住定住の促進等を通じ、個性豊かで活力のある地域社会の形成を目指します。</p> </div> <p data-bbox="160 548 457 579">（1）施策の現状と課題</p> <p data-bbox="160 594 1445 758">本市の人口は、2005（平成17）年の合併時と比較して、国分・隼人地区は増加しているのに対し、溝辺、横川、牧園、霧島、福山の5地区合計では、約17パーセント減少しています。そのため、一部の地域においては、自治会の役員、祭り等の伝統行事の継承、共有財産の管理など、地域を維持するための担い手が不足している状況です。</p> <p data-bbox="160 772 1445 894">このような状況において、活力ある地域づくりを推進していくためには、地域に居住している人たちが、学習や他地域に住む人々との対話を通じ、自らが居住する地域の魅力を再認識し、地域への誇りを醸成していくことが大切です。</p> <p data-bbox="160 909 1445 982">また、近年、大都市圏に居住する人々が、地方への「あこがれ」や移住希望を有していることが明らかになっていることから、移住に関する情報の発信や相談対応の充実などを強化していく必要があります。</p> <p data-bbox="160 997 1445 1161">一方、移住以外の関わりを求める方も多く存在し、観光やイベント参加に関心がある方のほか、農作業や祭り等の地域活動への参加や地元の人との交流のための滞在や二地域居住など、地域への関わり方が多様化していることから、地域住民のニーズを的確に把握し、関係したい人と地域住民とのマッチングを行うなどの体制を構築していく必要があります。</p> <p data-bbox="160 1176 1445 1249">さらに、これらの取組と連携した婚活イベント等の開催により、地域の魅力を市内外の多くの方に知ってもらい、結婚を通じて移住を検討する方を増やすなど、中長期的な視点に立った取組も必要です。</p> <p data-bbox="160 1312 344 1344">（2）成果指標</p> <table border="1" data-bbox="181 1350 1427 1696"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値 (年度)</th> <th>目標値 (2022年度)</th> <th>目標達成の 方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><意識系> 霧島市に住み続けたいと思う人の割合</td> <td>78.6% (2017年度)</td> <td>82.0%</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 相談窓口を経た移住者数</td> <td>178人 (2016年度)</td> <td>220人</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 移住プロモーションによる相談件数</td> <td>536人 (2016年度)</td> <td>550人</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 転入者数-転出者数</td> <td>▲302人 (2016年度)</td> <td>0人</td> <td>減少の抑制 を目指す</td> </tr> </tbody> </table>		現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性	<意識系> 霧島市に住み続けたいと思う人の割合	78.6% (2017年度)	82.0%	更なる増加 を目指す	<データ系> 相談窓口を経た移住者数	178人 (2016年度)	220人	更なる増加 を目指す	<データ系> 移住プロモーションによる相談件数	536人 (2016年度)	550人	更なる増加 を目指す	<データ系> 転入者数-転出者数	▲302人 (2016年度)	0人	減少の抑制 を目指す	<p data-bbox="1489 268 2775 310">5-3 活力ある地域づくりの推進</p> <div data-bbox="1489 359 2775 495"> <p><目指す姿> 地域や関係機関と連携し、地域に居住している人たちが、地域そのものに誇りを持つ意識の醸成を図るとともに、関係人口の拡大や移住定住の促進等を通じ、個性豊かで活力のある地域社会の形成を目指します。</p> </div> <p data-bbox="1489 548 1786 579">（1）施策の現状と課題</p> <p data-bbox="1489 594 2775 758">本市の人口は、2005（平成17）年の合併時と比較して、国分・隼人地区は増加しているのに対し、溝辺、横川、牧園、霧島、福山の5地区合計では、約17パーセント減少しています。そのため、一部の地域においては、自治会の役員、祭り等の伝統行事の継承、共有財産の管理など、地域を維持するための担い手が不足している状況です。</p> <p data-bbox="1489 772 2775 894">このような状況において、活力ある地域づくりを推進していくためには、地域に居住している人たちが、学習や他地域に住む人々との対話を通じ、自らが居住する地域の魅力を再認識し、地域への誇りを醸成していくことが大切です。</p> <p data-bbox="1489 909 2775 982">また、近年、大都市圏に居住する人々が、地方への「あこがれ」や移住希望を有していることが明らかになっていることから、移住に関する情報の発信や相談対応の充実などを強化していく必要があります。</p> <p data-bbox="1489 997 2775 1161">一方、移住以外の関わりを求める方も多く存在し、観光やイベント参加に関心がある方のほか、農作業や祭り等の地域活動への参加や地元の人との交流のための滞在や二地域居住など、地域への関わり方が多様化していることから、地域住民のニーズを的確に把握し、関係したい人と地域住民とのマッチングを行うなどの体制を構築していく必要があります。</p> <p data-bbox="1489 1176 2775 1249">さらに、これらの取組と連携した婚活イベント等の開催により、地域の魅力を市内外の多くの方に知ってもらい、結婚を通じて移住を検討する方を増やすなど、中長期的な視点に立った取組も必要です。</p> <p data-bbox="1489 1312 1673 1344">（2）成果指標</p> <table border="1" data-bbox="1510 1350 2757 1696"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値 (年度)</th> <th>目標値 (2022年度)</th> <th>目標達成の 方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><意識系> 霧島市に住み続けたいと思う人の割合</td> <td>78.6% (2017年度)</td> <td>82.0%</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 相談窓口を経た移住者数</td> <td>178人 (2016年度)</td> <td>220人</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 移住プロモーションによる相談件数</td> <td>536人 (2016年度)</td> <td>550人</td> <td>更なる増加 を目指す</td> </tr> <tr> <td><データ系> 転入者数-転出者数</td> <td>▲302人 (2016年度)</td> <td>0人</td> <td>減少の抑制 を目指す</td> </tr> </tbody> </table>		現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性	<意識系> 霧島市に住み続けたいと思う人の割合	78.6% (2017年度)	82.0%	更なる増加 を目指す	<データ系> 相談窓口を経た移住者数	178人 (2016年度)	220人	更なる増加 を目指す	<データ系> 移住プロモーションによる相談件数	536人 (2016年度)	550人	更なる増加 を目指す	<データ系> 転入者数-転出者数	▲302人 (2016年度)	0人	減少の抑制 を目指す
	現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性																																						
<意識系> 霧島市に住み続けたいと思う人の割合	78.6% (2017年度)	82.0%	更なる増加 を目指す																																						
<データ系> 相談窓口を経た移住者数	178人 (2016年度)	220人	更なる増加 を目指す																																						
<データ系> 移住プロモーションによる相談件数	536人 (2016年度)	550人	更なる増加 を目指す																																						
<データ系> 転入者数-転出者数	▲302人 (2016年度)	0人	減少の抑制 を目指す																																						
	現状値 (年度)	目標値 (2022年度)	目標達成の 方向性																																						
<意識系> 霧島市に住み続けたいと思う人の割合	78.6% (2017年度)	82.0%	更なる増加 を目指す																																						
<データ系> 相談窓口を経た移住者数	178人 (2016年度)	220人	更なる増加 を目指す																																						
<データ系> 移住プロモーションによる相談件数	536人 (2016年度)	550人	更なる増加 を目指す																																						
<データ系> 転入者数-転出者数	▲302人 (2016年度)	0人	減少の抑制 を目指す																																						

(3) 関連データ



(3) 関連データ



変更後	変更前（第7回審議会）
<p data-bbox="160 268 1445 310">6-1 市民の視点に立った行政サービスの提供</p> <p data-bbox="160 363 418 394">④ 議会運営への支援</p> <p data-bbox="181 411 1451 485"><u>本会議のインターネット中継、「霧島市議会だより」の発行や「議員と語るかい」の開催などを通じ、市民に身近で分かりやすい開かれた議会づくりを支援します。</u></p> <p data-bbox="201 499 1424 531">また、議会が、議決機関として、適正かつ効率的にその機能を発揮できるよう環境整備に取り組みます。</p>	<p data-bbox="1484 268 2769 310">6-1 市民の視点に立った行政サービスの提供</p> <p data-bbox="1472 363 1742 394">④ 議会運営への支援</p> <p data-bbox="1498 411 2781 485"><u>議会活動状況の広報や「議員と語るかい」などの開催を通じ、市民に身近で分かりやすい開かれた議会づくりを支援します。</u></p> <p data-bbox="1525 499 2748 531">また、議会が、議決機関として、適正かつ効率的にその機能を発揮できるよう環境整備に取り組みます。</p>